

平成22年度 項目別評価表 添付資料リスト

No.	File #	資料名
1	#1-1	研究ユニット一覧
2	#1-2	平成22年度共同&受託研究
3	#3-1	沖縄科学技術大学院大学教員予定者
4	#5-1	研究職員採用一覧
5	#8-1	平成22年度発表論文リスト
6	#8-2	論文発表数等(グラフ)
7	#12-1	平成22年度 国際ワークショップ一覧
8	#12-2	平成22年度 セミナー一覧
9	#12-3	ワークショップアンケート回答概要
10	#12-4	平成22年度国際ワークショップ参加者数
11	#14-1	学長予定者決定に関するプレスリリース
12	#14-2	学園設立委員会・機構運営委員会の開催後のプレスリリース
13	#15-1	学園設立委員会による声明文
14	#22-1	平成22年度随意契約見直し計画フォローアップ
15	#22-2	平成22年度契約一覧
16	#24-1	給与水準
17	#26-1	SH施設について
18	#26-2	主なOIST実物資産一覧(平成22年度、23年度)
19	#46-1	平成22年度講演及びイベント実績

研究ユニット一覧

	主任研究者	国籍	ユニット名
1	銅谷賢治博士	日本	神経計算ユニット
2	柳田充弘博士	日本	G0 細胞ユニット
3	シドニー・ブレナー博士	イギリス	分子遺伝学ユニット
4	丸山一郎博士	日本	情報処理生物学ユニット
5	内藤隆之博士	日本	分子神経科学ユニット
6	ロバート・シンクレア博士	オーストラリア	数理生物学ユニット
7	政井一郎博士	日本	神経発生ユニット
8	クラウド・シュティーフエル博士	オーストリア	理論・実験神経生物学ユニット
9	ジェフ・ウィッケンス博士	ニュージーランド	神経生物学研究ユニット
10	ゲイル・トリップ博士	ニュージーランド	発達神経生物学ユニット
11	ゴードン・アーバスノット博士	イギリス	行動の脳機構ユニット
12	エリック・デ・シュッター博士	ベルギー	計算脳科学ユニット
13	ファデル・サマテ博士	フランス	細胞膜通過輸送研究ユニット
14	高橋智幸博士	日本	細胞分子シナプス機能ユニット
15	メリー・アン・プライス博士	アメリカ	発生分化シグナル研究ユニット
16	佐藤矩行博士	日本	マリンゲノミックスユニット
17	ジョナサン・ミラー博士	アメリカ	物理生物学ユニット
18	ホルガー・イェンケコダマ博士 *	ドイツ	進化システム生物学ユニット
19	北野宏明博士	日本	オープンバイオロジーユニット
20	アレクサンダー・ミケエエブ博士 *	アメリカ/ロシア	生態・進化学ユニット
21	御手洗哲司博士 *	日本	海洋生態物理学ユニット
22	ウルフ・スコグラント博士	スウェーデン	構造細胞生物学ユニット
23	磯田昌岐博士	日本	神経システム行動ユニット
24	外村彰博士	日本	電子顕微鏡ユニット
25	イゴール・ゴリヤニン博士	ロシア/イギリス	生物システムユニット
26	ディヴィッド・ヴァンヴァクター博士	アメリカ	神経結合の形成と制御研究ユニット
27	ベアン・クン博士	ドイツ	光学ニューロイメージングユニット

\* 若手代表研究者

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

■ の 23~27 の研究ユニットは、平成 22 年度に新設

共同研究契約一覧

番号	共同研究実施機関名
1	財団法人国際電気通信基礎技術研究所
2	国内自動車メーカー基礎研究所
3	国立大学法人京都大学
4	国立大学法人京都大学
5	国立大学法人広島大学
6	学校法人久留米大学
7	学校法人日本医科大学
8	国立大学法人東京大学
9	国立大学法人京都大学
10	国立大学法人大阪大学
11	学校法人慶応大学
12	オタワ大学(カナダ)
13	国立大学法人琉球大学
14	リオデジャネイロ大学(ブラジル)
15	サンパウロ大学(ブラジル)
16	ディオール教育研究所(ブラジル)
17	国立大学法人東京工業大学
18	国立大学法人筑波大学
19	国立大学法人九州大学
20	独立行政法人産業技術総合研究所
21	独立行政法人産業技術総合研究所
22	国内バイオベンチャー企業
23	独立行政法人海洋研究開発機構
24	ジェームスクック大学(オーストラリア)
25	INSTITUTE OF MOLECULAR AND CELL BIOLOGY(シンガポール)
26	独立行政法人理化学研究所
27	エジンバラ大学(英国)
28	独立行政法人理化学研究所

受託研究契約一覧

番号	件名	委託者
1	分裂酵母におけるメタボロームの基礎技術の開発	科学技術振興機構
2	他者と自己の戦略的行動モニタリングとその脳内情報表現	科学技術振興機構
3	沖縄生物資源の活用促進に向けた研究基盤の構築における「ホヤ類のセルロース合成系の解析」	財団法人 沖縄科学技術振興センター
4	シンカイセイバリアイ <i>Bathymodiolus azoricus</i> のゲノム科学的解析: 化学合成細菌共生と極限環境応答のメカニズムの解明	科学技術振興機構

沖縄科学技術大学院大学教員予定者(平成23年8月1日現在)

	氏名	国籍	研究分野	専任(F)・兼任(P)	新規採用(2010年6月～) (前所属機関)	機構の代表研究者等 (8月1日現在)
1	ロバート・バックマン博士	アメリカ	神経科学	P	—	○(理事)
2	銅谷 賢治博士	日本	数学・計算科学	F	—	○
3	柳田 充弘博士	日本	化学・分子科学	F	—	○
4	シドニー・ブレナー博士	イギリス	ゲノミクス	F/P	—	○
5	丸山 一郎博士	日本	化学・分子科学	F	—	○
6	ロバート・シンクレア博士	オーストラリア	数学・計算科学	F	—	○
7	政井 一郎博士	日本	発達神経科学	F	—	○
8	クラウス・シュティエフェル博士	オーストリア	神経科学	F	—	○
9	ジェフ・ウィッケンス博士	ニュージーランド	神経科学	F	—	○
10	ゲイル・トリップ博士	ニュージーランド	神経科学	F	—	○
11	ゴードン・アーバスノット博士	イギリス	神経科学	F	—	○
12	エリック・デ・シュッター博士	ベルギー	数学・計算科学	F	—	○
13	ファデル・サマテ博士	フランス	構造生物学	F	—	○
14	高橋 智幸博士	日本	神経科学	P	—	○
15	メリー・アン・ブライス博士	アメリカ	化学・分子科学	F	—	○
16	佐藤 矩行博士	日本	ゲノミクス	F	—	○
17	ジョナサン・ミラー博士	アメリカ	物理生物学	F	—	○
18	ホルガー・イエンケコダマ博士	ドイツ	環境・生態学	F	—	○
19	北野宏明博士	日本	システム生物学	P	—	○
20	アレクサンダー・ミケエフ博士	アメリカ/ロシア	環境・生態学	F	—	○
21	御手洗哲司博士	日本	環境・生態学	F	—	○
22	ウルフ・スコグランド博士	スウェーデン	構造生物学	F	—	○
23	磯田 昌岐博士	日本	神経科学	F	—	○
24	イゴール・ゴリヤニン博士	ロシア/イギリス	システム生物学	P	—	○
25	外村 彰博士	日本	物理学	P	—	○
26	デイビッド・ヴァンヴァクター博士	アメリカ	発達神経科学	P	—	○

沖縄科学技術大学院大学教員予定者(平成23年8月1日現在)

	氏名	国籍	研究分野	専任(F)・兼任(P)	新規採用(2010年6月～) (前所属機関)	機構の代表研究者等 (8月1日現在)
27	ベアン・クン博士	ドイツ	神経科学	F	—	○
28	田中 富士枝博士	日本	化学	F	○(京都大学)	○
29	氷上 忍博士	日本	物理学	P/F	○(東京大学)	○
30	山本 雅博士	日本	細胞生物学	P/F	○(東京大学)	○
31	ニコラス・ラスカム博士	日本/イギリス	ゲノミクス	P	○(ケンブリッジ大学/ 欧州分子生物学研究所)	○
32	ムックレス・ソーワン博士	パレスチナ	物理学	F(共同)	○(アル=クドス(エルサレム)大学)	○
33	デニス・コンスタンチノフ博士	ロシア	物理学	F	○(理化学研究所)	○
34	ヤビン・チー博士	中国	物理学	F	○(プリンストン大学)	○
35	マティアス・ウォルフ博士	オーストリア	構造生物学	F	○(ハーバード・メディカル・スクール)	○
36	エヴァン エコノモ博士	アメリカ/カナダ	進化生物学	P/F	○(ミシガン大学)	○
37	デイヴィッド ドーフアン博士	アメリカ	物理学	P	○(カリフォルニア大学サンタクルーズ校) (退職)	○(スペシャル・アドバイザー)
38	杉山(矢崎) 陽子博士	日本	神経科学	F	○(理研BSI)	○
39	佐瀬 英俊博士	日本	植物分子遺伝学	F	○(国立遺伝学研究所)	
40	新竹 積博士	日本	物理学	F	○(理研Spring-8センター)	
41	トーマス・ブッシュ博士	ドイツ	物理学	P/F	○(コーク・カレッジ大学)	
42	シーレ・ニコーマック博士	アイルランド	物理学	P/F	○(コーク・カレッジ大学)	
43	石川 裕規博士	日本	免疫学	F	○(東北大学)	
44	タティアナ・マーケス ラゴ博士	メキシコ	数学・計算科学	F	○(チューリッヒ工科大学)	
45	ダニ・ケシャヴ博士	インド	物理学	F	○(ロスアラモス米国立研究所)	
46	グレッグ・ステファンズ博士	アメリカ	物理学	P/F	○(プリンストン大学)	
47	マヘッシュ・バンディ博士	インド	物理学	P/F	○(ハーバード大学)	
48	ニック・シャノン博士	イギリス	物理学	F	○(ブリストル大学)	
49	ピナキ・チャカラボティ博士	インド	物理学	F	○(イリノイ大学)	

(注) 上記49名のうち38名が大学設置審査のため文部科学省に提出した教員名簿に含まれている。当該名簿に記載のない11名については、大学院大学での担当授業科目等の詳細は未定であり、今後、就任に向けた調整の中で検討される予定。

平成22年度 研究職員採用一覧

役職別	人数
主任研究者	5名
研究員	20名
技術員	9名
計	34名

年代別	人数
20代	5名
30代	17名
40代	10名
50代	1名
60代	1名
計	34名

性別	人数
男性	25名
女性	9名
計	34名

国別	人数
日本	18名
アメリカ	3名
イギリス	2名
バングラディシュ	2名
フランス	1名
オーストリア	1名
ブルガリア	1名
中国	1名
ドイツ	1名
インド	3名
ルーマニア	1名
合計	34名

## 平成22年度発表論文リスト

\*OISTクレジットのみ

## 書籍

- 1 Arbuthnott, G. W. & Garcia-Munoz, M. Neuropharmacology. in *Companion to Psychiatric Studies 8th Edition* (eds. E. Johnstone, D.C. Owens, S. M. Lawrie, A. M. McIntosh, & M. Sharpe) 45-76 (Churchill Livingstone Elsevier, Edinburgh, 2010.07).
- 2 Hayasaka, T., Naito, T. & Setou, M. Application of imaging mass spectrometry to photobiology. in *Photobiology* 243-250 (2010).

## 学術誌

- 1 Anwar, H., Hong, S. & De Schutter, E. Controlling  $Ca^{2+}$ -activated  $K^+$  channels with models of  $Ca^{2+}$  buffering in Purkinje cells *Cerebellum*, in press (2010).
- 2 Barker, C. S., Meshcheryakova, I. V., Kostyukova, A. S. & Samatey, F. A. FliO Regulation of FliP in the Formation of the Salmonella enterica Flagellum. *Plos Genetics* 6, -, doi:ARTN e1001143 DOI 10.1371/journal.pgen.1001143 (2010).
- 3 Botta, P., de Souza, F. M., Sangrey, T., De Schutter, E. & Valenzuela, C. F. Alcohol excites cerebellar Golgi cells by inhibiting the  $Na^+/K^+$  ATPase. *Neuropsychopharmacology* 35, 1984-1996, doi:npp201076 [pii] 10.1038/npp.2010.76 (2010).
- 4 Brooks, D. D., Chan, R., Starks, E. R., Grayston, S. J. & Jones, M. D. Ectomycorrhizal hyphae structure components of the soil bacterial community for decreased phosphatase production. *FEMS Microbiol Ecol* 76, 245-255, doi:10.1111/j.1574-6941.2011.01060.x (2011).
- 5 Caron, E., Ghosh, S., Matsuoka, Y., Ashton-Beaucage, D., Therrien, M., Lemieux, S., Perreault, C., Roux, P. P. & Kitano, H. A comprehensive map of the mTOR signaling network. *Mol Syst Biol* 6, Article no. 453, doi:msb2010108 [pii] 10.1038/msb.2010.108 (2010).
- 6 Chen, W., Maex, R., Adams, R., Steuber, V., Calcraft, L. & Davey, N. Clustering predicts memory performance in networks of spiking and non-spiking neurons. *Frontiers in Computational Neuroscience*, 2011.00014, doi:10.3389/fncom.2011.00014 (2011).
- 7 De Schutter, E. Data publishing and scientific journals: the future of the scientific paper in a world of shared data. *Neuroinformatics* 8, 151-153, doi:10.1007/s12021-010-9084-8 (2010).
- 8 de Souza, F. & De Schutter, E. Robustness effect of gap junctions between Golgi cells on cerebellar cortex oscillations. *Neural Systems & Circuits* 1, 7 (2011).
- 9 Elfving, S., Uchibe, E., Doya, K., Christensen, Hl. Darwinian embodied evolution of the learning ability for survival. *Adaptive Behavior*, doi:doi: 10.1177/1059712310397633 (2011).

添付資料 #8-1

- 10 Fermin, A., Yoshida, T., Ito, M. & Yoshimoto, J. Evidence for Model-Based Action Planning in a Sequential Finger Movement Task. *Journal of Motor Behavior* 42, 371-379 (2010).
- 11 Foucaud, J., Orivel, J., Loiseau, A., Delabie, J. H. C., Jourdan, H., Konghouleux, D., Vonshak, M., Tindo, M., Mercier, J. L., Fresneau, D., Mikissa, J. B., McGlynn, T., Mikheyev, A. S., Oettler, J. & Estoup, A. Worldwide invasion by the little fire ant: routes of introduction and eco-evolutionary pathways. *Evolutionary Applications* 3, 363-374, doi:Doi 10.1111/j.1752-4571.2010.00119.X (2010).
- 12 Furukawa, E., Tangney, J., Higashibara F. Cross-cultural continuities and discontinuities in shame, guilt, and pride: A study of children residing in Japan, Korea and the USA. *Self and Identity*, doi:10.1080/15298868.2010.512748 (2011).
- 13 Galland, B. C., Tripp, E. G., Gray, A. & Taylor, B. J. Apnea-hypopnea indices and snoring in children diagnosed with ADHD: a matched case-control study. *Sleep Breath*, doi:10.1007/s11325-010-0357-0 (2010).
- 14 Galland, B. C., Tripp, E. G. & Taylor, B. J. The sleep of children with attention deficit hyperactivity disorder on and off methylphenidate: a matched case-control study. *J Sleep Res* 19, 366-373, doi:JSR795 [pii] 10.1111/j.1365-2869.2009.00795.x (2010).
- 15 Garcia-Munoz M, C.-R. L., Arbuthnott GW. Functional Anatomy: Dynamic states in basal ganglia circuits. *Frontiers in Neuroanatomy* 4 (2010).
- 16 Georgescu, P., Dimitriu, G., Sinclair, R. Impulsive Control of an Integrated Pest Management Model with Dispersal between Patches. *Journal of Biological Systems* 18, 535-569, doi:10.1142/S0218339010003561 (2010).
- 17 Ghosh, S., Matsuoka, Y. & Kitano, H. Connecting the dots: role of standardization and technology sharing in biological simulation. *Drug Discov Today* 15, 1024-1031, doi:S1359-6446(10)00336-3 [pii] 10.1016/j.drudis.2010.10.001 (2010).
- 18 Goryanin, I. Computational optimization and biological evolution. *Biochemical Society Transactions* 38, 1206-1209, doi:Doi 10.1042/Bst0381206 (2010).
- 19 Hamada, M., Shimozono, N., Ohta, N., Satou, Y., Horie, T., Kawada, T., Satake, H., Sasakura, Y. & Satoh, N. Expression of neuropeptide- and hormone-encoding genes in the Ciona intestinalis larval brain. *Dev Biol* 352, 202-214, doi:S0012-1606(11)00022-4 [pii] 10.1016/j.ydbio.2011.01.006 (2011).
- 20 Hao, T., Ma, H. W., Zhao, X. M. & Goryanin, I. Compartmentalization of the Edinburgh Human Metabolic Network. *Bmc Bioinformatics* 11, 393, doi:Artn 393 Doi 10.1186/1471-2105-11-393 (2010).
- 21 Hellsten, U., Harland, R. M., Gilchrist, M. J., Hendrix, D., Jurka, J., Kapitonov, V., Ovcharenko, I., Putnam, N. H., Shu, S. Q., Taher, L., Blitz, I. L., Blumberg, B., Dichmann, D. S., Dubchak, I., Amaya, E., Deiter, J. C., Fletcher, R., Gerhard, D. S., Goodstein, D., Graves, T., Grigoriev, I. V., Grimwood, J., Kawashima, T., Lindquist, E., Lucas, S. M., Mead, P. E., Mitros, T., Ogino, H., Ohta, Y., Poliakov, A. V., Pollet, N., Robert, J., Salamov, A., Sater, A. K., Schmutz, J., Terry, A., Vize, P. D., Warren, W. C., Wells, D., Wills, A., Wilson, R. K., Zimmerman, L. B., Zorn, A. M., Grainger, R., Grammer, T., Khokha, M. K., Richardson, P. M. & Rokhsar, D. S. The Genome of the Western Clawed Frog *Xenopus tropicalis*. *Science* 328, 633-636, doi:Doi 10.1126/Science.1183670 (2010).
- 22 Horie, T., Shinki, R., Ogura, Y., Kusakabe, T. G., Satoh, N. & Sasakura, Y. Ependymal cells of chordate larvae are stem-like cells that form the adult nervous system. *Nature* 469, 525-528, doi:nature09631 [pii] 10.1038/nature09631 (2011).

- 23 Hozumi, A., Kawai, N., Yoshida, R., Ogura, Y., Ohta, N., Satake, H., Satoh, N. & Sasakura, Y. Efficient Transposition of a Single Minos Transposon Copy in the Genome of the Ascidian *Ciona intestinalis* With a Transgenic Line Expressing Transposase in Eggs. *Developmental Dynamics* **239**, 1076-1088, doi:Doi 10.1002/Dvdy.22254 (2010).
- 24 Ikuta, T., Satoh, N. & Saiga, H. Limited functions of Hox genes in the larval development of the ascidian *Ciona intestinalis*. *Development* **137**, 1505-1513, doi:Doi 10.1242/Dev.046938 (2010).
- 25 Imai, F., Yoshizawa, A., Fujimori-Tonou, N., Kawakami, K. & Masai, I. The ubiquitin proteasome system is required for cell proliferation of the lens epithelium and for differentiation of lens fiber cells in zebrafish. *Development* **137**, 3257-3268, doi:Doi 10.1242/Dev.053124 (2010).
- 26 Kaizu, K., Ghosh, S., Matsuoka, Y., Moriya, H., Shimizu-Yoshida, Y. & Kitano, H. A comprehensive molecular interaction map of the budding yeast cell cycle. *Mol Syst Biol* **6**, 415, doi:msb201073 [pii] 10.1038/msb.2010.73 (2010).
- 27 Kaizu, K., Moriya, H. & Kitano, H. Fragilities caused by dosage imbalance in regulation of the budding yeast cell cycle. *PLoS Genet* **6**, e1000919, doi:10.1371/journal.pgen.1000919 (2010).
- 28 Kemper, B., Matsuzaki, T., Matsuoka, Y., Tsuruoka, Y., Kitano, H., Ananiadou, S. & Tsujii, J. PathText: a text mining integrator for biological pathway visualizations. *Bioinformatics* **26**, i374-381, doi:btq221 [pii] 10.1093/bioinformatics/btq221 (2010).
- 29 Kitano, H. Violations of robustness trade-offs. *Mol Syst Biol* **6**, Article no. 384, doi:msb201040 [pii] 10.1038/msb.2010.40 (2010).
- 30 Kitano, H. Grand challenges in systems physiology. *Frontiers in Physiology* **1** (2010).
- 31 Kiyomitsu, T., Murakami, H., and Yanagida, M. Protein interaction domain mapping of human kinetochore protein Blinkin reveals a consensus motif for binning of spindle assembly checkpoint proteins Bub1 and BubR1. *Mol Cell Biol* **5**, 998-1011 (2011).
- 32 Klein M, Kamp H, Palm G & Doya, K. A computational neural model of goal-directed utterance selection. *Neural Networks* **23**, 592-606 (2010).
- 33 Knöpfel, M. U. a. T. Functional Classification of Neurons in the Mouse Lateral Cerebellar Nuclei. *Cerebellum* (2010).
- 34 Kubo, A., Suzuki, N., Yuan, X. Y., Nakai, K., Satoh, N., Imai, K. S. & Satou, Y. Genomic cis-regulatory networks in the early *Ciona intestinalis* embryo. *Development* **137**, 1613-1623, doi:Doi 10.1242/Dev.046789 (2010).
- 35 Luman, M., Tripp, G. & Scheres, A. Identifying the neurobiology of altered reinforcement sensitivity in ADHD: A review and research agenda. *Neuroscience and Biobehavioral Reviews* **34**, 744-754, doi:10.1016/j.neubiorev.2009.11.021 (2010).
- 36 M. Gedda, L.-G. V., U. Skoglund, S. Svensson. Image processing system for localizing macromolecules in crto-electron tomography. *Machine Graphics & Vision* **19**, 159-184 (2010).
- 37 Maeda, K. & Tachibara, K. Diel and Seasonal Occurrence Patterns of Drifting Fish Larvae in the Teima Stream, Okinawa Island. *Pacific Science* **64**, 161-176, doi:Doi 10.2984/64.2.161 (2010).
- 38 Mamishin, S., Kasai, H., Xia, W. X., Murakami, Y., Shindo, D., Mori, S. & Tonomura, A. Lorentz Microscopy Study on Magnetization Reversal Process in Single-Domain State in Perovskite-Type Manganite. *Japanese Journal of Applied Physics* **49**, -, doi:Artn 063003 Doi 10.1143/Jap.49.063003 (2010).

- 39 Matsuoka, Y., Ghosh, S., Kikuchi, N. & Kitano, H. Payao: a community platform for SBML pathway model curation. *Bioinformatics* **26**, 1381-1383, doi:btq143 [pii] 10.1093/bioinformatics/btq143 (2010).
- 40 Meshcheryakov, V. A., Yoon, Y. H. & Samatey, F. A. Purification, crystallization and preliminary X-ray crystallographic analysis of the C-terminal cytoplasmic domain of FlhB from *Aquifex aeolicus*. *Acta Crystallographica Section F-Structural Biology and Crystallization Communications* **67**, 280-282, doi:Doi 10.1107/S1744309110052942 (2011).
- 41 Mikheyev, A. S., Mueller, U. G. & Abbot, P. Comparative Dating of Attine Ant and Lepiotaceous Cultivar Phylogenies Reveals Coevolutionary Synchrony and Discord. *American Naturalist* **175**, E126-E133, doi:Doi 10.1086/652472 (2010).
- 42 Mikheyev, A. S., Vo, T., Wee, B., Singer, M. C. & Parmesan, C. Rapid microsatellite isolation from a butterfly by de novo transcriptome sequencing: performance and a comparison with AFLP-derived distances. *PLoS ONE* **5**, e11212-e11212 (2010).
- 43 Miyagi, H., and Maruyama, I. N. Analysis of ligand-receptor interaction on the surface of living cells by fluorescence correlation spectroscopy. *The Open Spectroscopy Journal* **4**, 28-31 (2010).
- 44 Miyazaki, K., Miyazaki, K. W. & Doya, K. Activation of dorsal raphe serotonin neurons underlies waiting for delayed rewards. *J Neurosci* **31**, 469-479, doi:31/2/469 [pii] 10.1523/JNEUROSCI.3714-10.2011 (2011).
- 45 Miyazaki, K. W., Miyazaki, K. & Doya, K. Activation of the central serotonergic system in response to delayed but not omitted rewards. *European Journal of Neuroscience* **33**, 153-160, doi:DOI 10.1111/j.1460-9568.2010.07480.x (2011).
- 46 Mueller UG, M. A., Hong E, Sena R, Warren DL, Solomon SE, Ishaka HD, Cooper M, Miller JL, Shaer KA, and Juenger TE Evolution of cold-tolerant fungal symbionts permits winter fungiculture by leafcutter ants at the northern frontier of a tropical ant-fungus symbiosis. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, doi:10.1073/pnas.1015806108 (2011).
- 47 Mueller UG, M. A., Solomon SE and Cooper M. Frontier mutualism: Co-evolutionary patterns at the northern range limit of the leafcutter ant-fungus symbiosis. *Proceedings of the Royal Society B*, doi:10.1098/rspb.2011.0125 (2011).
- 48 Nakamura, N. H., Akiyama, K. & Naito, T. Quantitative gene expression analysis of the ligand-receptor system for classical neurotransmitters and neuropeptides in hippocampal CA1, CA3 and dentate gyrus *Hippocampus* (2010).
- 49 Ogura, Y., Sakae-Sawano, A., Nakagawa, M., Satoh, N., Miyawaki, A. & Sasakura, Y. Coordination of mitosis and morphogenesis: role of a prolonged G2 phase during chordate neurulation. *Development* **138**, 577-587, doi:138/3/577 [pii] 10.1242/dev.053132 (2011).
- 50 Ohata, S., Aoki, R., Kinoshita, S., Yamaguchi, M., Tsuruoka-Kinoshita, S., Tanaka, H., Wada, H., Watabe, S., Tsuboi, T., Masai, I. & Okamoto, H. Dual Roles of Notch in Regulation of Apically Restricted Mitosis and Apicobasal Polarity of Neuroepithelial Cells. *Neuron* **69**, 215-230, doi:DOI 10.1016/j.neuron.2010.12.026 (2011).
- 51 Ohlmann, J. C. & Mitarai, S. Lagrangian assessment of simulated surface current dispersion in the coastal ocean. *Geophysical Research Letters* (2010) **37**, L17602, doi:Artn L17602 Doi 10.1029/2010gl044436 (2010).
- 52 Ohta, N., Horie, T., Satoh, N. & Sasakura, Y. Transposon-mediated enhancer detection reveals the location, morphology and development of the cupular organs, which are putative hydrodynamic sensors, in the ascidian *Ciona intestinalis*. *Zool Sci* **27**, 842-850, doi:10.2108/zsj.27.842 (2010).
- 53 Pawlack, V., Wickens, J. R., Kirkwood, A. & Kerr, J. N. Timing is not everything: neuromodulation opens the STDP gate.

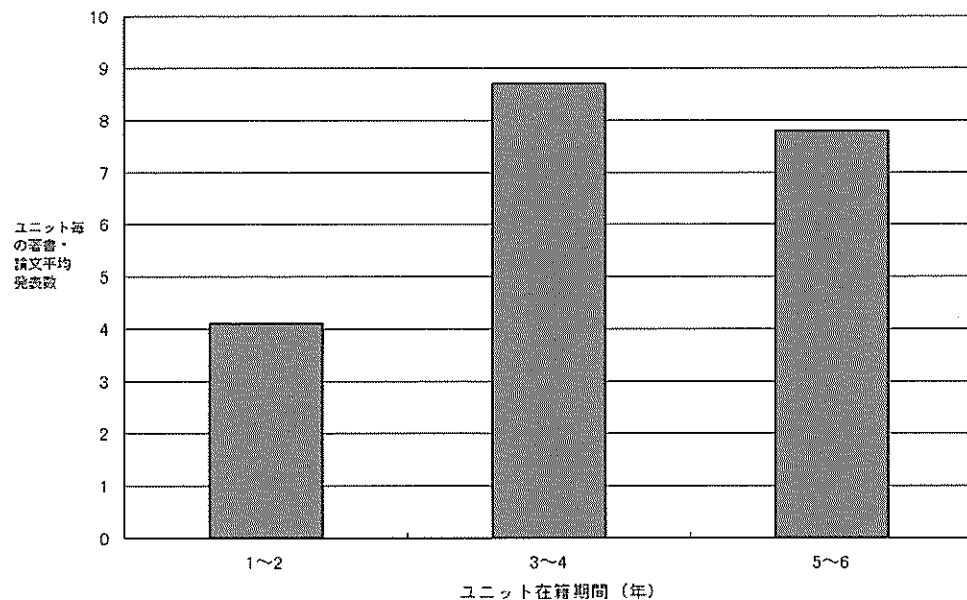


- Frontiers in Synaptic Neuroscience* 2, 1-14 (2010).
- 54 Pluskal, T., Hayashi, T., Saitoh, S., Fujisawa, A., and Yanagida, M. Specific biomarkers for stochastic division patterns and starvation-induced quiescence under limited glucose levels in fission yeast. *FEBS J*, doi:doi: 10.1111/j.1742-4658.2011.08050.x. (2011).
- 55 Pluskal, T., Castillo, S., Villar-Briones, A. & Oresic, M. MZmine 2: Modular framework for processing, visualizing, and analyzing mass spectrometry-based molecular profile data. *BMC Bioinformatics* 11, -, doi:Artn 395 Doi 10.1186/1471-2105-11-395 (2010).
- 56 Ponzi, A. & Wickens, J. R. Sequentially switching cell assemblies in random inhibitory networks of spiking neurons in the striatum. *Journal of Neuroscience* 30, 5894-5911 (2010).
- 57 Quinto, E. T., Ozan, O. & Skoglund, U. Reply to Wang and Yu: Both electron lambda tomography and interior tomography have their uses. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America* 107, E94-E95, doi:DOI 10.1073/pnas.1002721107 (2010).
- 58 Robberechts, Q., Wijnants, M., Giugliano, M. & De Schutter, E. Long-term depression at parallel fiber to Golgi cell synapses. *J Neurophysiol* 104, 3413-3423, doi:jn.00030.2010 [pii] 10.1152/jn.00030.2010 (2010).
- 59 Roy, M. C., Ikimura, K., Nishino, H. & Naito, T. A high recovery microsampling device based on a microdialysis probe for peptide sampling. *Anal Biochem* 399, 305-307, doi:S0003-2697(09)00883-5 [pii] 10.1016/j.ab.2009.12.036 (2010).
- 60 Roy, M. C., Nakanishi, H., Takahashi, K., Nakanishi, S., Kajihara, S., Hayasaka, T., Setou, M., Ogawa, K., Taguchi, R. & Naito, T. Salamander retina phospholipids and their localization by MALDI imaging mass spectrometry at a single cell level. *Journal of Lipid Research* (2010).
- 61 Schock SC, J.-D. K., Schock PC, Staines WA, Garcia-Munoz M, Arbuthnott GW. Striatal interneurons in dissociated cell culture. *Histochemistry and Cell Biology* 134, 1-12 (2010).
- 62 Selkoe, K. A., Watson, J. R., White, C., Ben Horin, T., Iacchei, M., Mitarai, S., Siegel, D. A., Gaines, S. D. & Toonen, R. J. Taking the chaos out of genetic patchiness: seascape genetics reveals ecological and oceanographic drivers of genetic patterns in three temperate reef species. *Molecular Ecology* 19, 3708-3726, doi:Doi 10.1111/J.1365-294x.2010.04658.X (2010).
- 63 Shen, J., Maruyama, I. N. Nerve growth factor receptor TrkA exists as a preformed, yet inactive, dimer in living cells. *FEBS Lett* 585, 295-299 (2011).
- 64 Shiraishi, T., Matsuyama, S. & Kitano, H. Large-scale analysis of network bistability for human cancers. *PLoS Comput Biol* 6, e1000851, doi:10.1371/journal.pcbi.1000851 (2010).
- 65 Shirowa, Y., Hayashi, T., Fujita, Y., Villar-Briones, A., Ikai, N., Takeda, K., Ebe, M., and Yanagida, M. Mis17 is a Regulatory Module of the Mis6-Mal2-Sim4 Centromere Complex That Is Required for the Recruitment of CenH3/CENP-A in Fission Yeast. *PLoS One* 6, e17761 (2011).
- 66 Shoguchi, E., Hamada, M., Fujie, M. & Satoh, N. Direct examination of chromosomal clustering of organ-specific genes in the chordate *Ciona intestinalis*. *Genesis*, doi:10.1002/dvg.20730 (2011).
- 67 Sowerby, P., Seal, S. & Tripp, G. Working Memory Deficits in ADHD: The Contribution of Age, Learning/Language

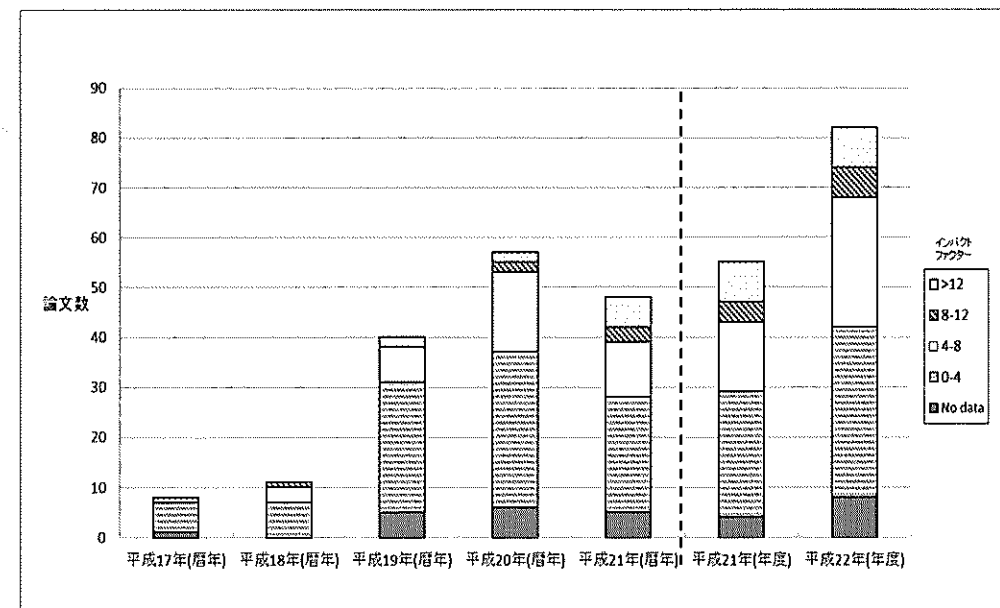
- Difficulties, and Task Parameters. *J Atten Disord*, doi:1087054710370674 [pii] 10.1177/1087054710370674 (2010).
- 68 Steuber, V., Schultheiss, N., Silver, A., De Schutter, E. & Jaeger, D. Determinants of synaptic integration and heterogeneity in rebound firing explored with data-driven models of deep cerebellar nuclei cells. *Journal of Computational Neuroscience*, in press, doi:10.1007/s10827-010-0282-z (2010).
- 69 Stiefel, K. M., Fellous, J. M., Thomas, P. J. & Sejnowski, T. J. Intrinsic subthreshold oscillations extend the influence of inhibitory synaptic inputs on cortical pyramidal neurons (vol 31, pg 1019, 2010). *European Journal of Neuroscience* 31, 1509-1509, doi:DOI 10.1111/j.1460-9568.2010.07245.x (2010).
- 70 Tahon, K., Wijnants, M., De Schutter, E. & Maex, R. Current Source Density Correlates of Cerebellar Golgi and Purkinje Cell Responses to Tactile Input. *J Neurophysiol* 105, 1327-1341, doi:jn.00317.2010 [pii] 10.1152/jn.00317.2010 (2011).
- 71 Takahashi, K., Imano, R., Kibe, T., Seimiya, H., Muraatsu, Y., Kawabata, N., Tanaka, G., Matsumoto, Y., Hiromoto, T., Koizumi, Y., Nakazawa, N., Yanagida, M., Yukawa, M., Tsuchiya, E., and Ueno, M. Fission Yeast Pot1 and RecQ Helicase Are Required for Efficient Chromosome Segregation. *Mol Cell Biol* 31, 495-506 (2011).
- 72 Takeda, K. & Yanagida, M. In quiescence of fission yeast, autophagy and the proteasome collaborate for mitochondrial maintenance and longevity. *Autophagy* 6, doi:11948 [pii] (2010).
- 73 Tassy, O., Dauga, D., Daian, F., Sobral, D., Robin, F., Khoueiry, P., Salgado, D., Fox, V., Caillol, D., Schiappa, R., Laporte, B., Rios, A., Luxardi, G., Kusakabe, T., Joly, J. S., Darras, S., Christiaen, L., Contensin, M., Auger, H., Lamy, C., Hudson, C., Rothbacher, U., Gilchrist, M. J., Makabe, K. W., Hotta, K., Fujiwara, S., Satoh, N., Satou, Y. & Lemaire, P. The ANISEED database: digital representation, formalization, and elucidation of a chordate developmental program. *Genome Research* 20, 1459-1468, doi:gr.108175.110 [pii] 10.1101/gr.108175.110 (2010).
- 74 Torben-Nielsen, B. & Stiefel, K. M. Wide-Field Motion Integration in Fly VS Cells: Insights from an Inverse Approach. *Plos Computational Biology* 6, doi:10.1371/journal.pcbi.1000932 (2010).
- 75 Torben-Nielsen, B., Uusisaari, M. & Stiefel, K. M. A comparison of methods to determine neuronal phase-response curves. *Front Neuroinformatics* 4, 6, doi:10.3389/fninf.2010.00006 (2010).
- 76 Trujillo, G., Nakata, K., Yan, D., Maruyama, I. N. & Jin, Y. A ubiquitin E2 variant protein acts in axon termination and synaptogenesis in *Caenorhabditis elegans*. *Genetics* 186, 135-145, doi:genetics.110.117341 [pii] 10.1534/genetics.110.117341 (2010).
- 77 Watanabe, Y., Numata, K., Murata, S., Osada, Y., Saito, R., Nakaoka, H., Yamamoto, N., Watanabe, K., Kato, H., Abe, K. & Kiyosawa, H. Genome-wide analysis of expression modes and DNA methylation status at sense-antisense transcript loci in mouse. *Genomics* 96, 333-341, doi:DOI 10.1016/j.ygeno.2010.08.007 (2010).
- 78 Yamada, S., Ueno, N., Satoh, N. & Takahashi, H. *Ciona intestinalis* Noto4 contains a phosphotyrosine interaction domain and is involved in the midline intercalation of notochord cells. *Int J Dev Biol* 55, 11-18, doi:092981sy [pii] 10.1387/ijdb.092981sy (2010).
- 79 Yamaguchi, M., Imai, F., Tonou-Fujimori, N. & Masai, I. Mutations in N-cadherin and a Stardust homolog, Nagie oko, affect cell-cycle exit in zebrafish retina. *Mechanisms of Development* 127, 247-264, doi:DOI 10.1016/j.mod.2010.03.004 (2010).
- 80 Yamashita, T., Eguchi, K., Saitoh, N., von Gersdorff, H. & Takahashi, T. Developmental shift to a mechanism of synaptic

- vesicle endocytosis requiring nanodomain  $\text{Ca}^{2+}$ . *Nature Neuroscience* **13**, 838-U876, doi:Doi 10.1038/Nn.2576 (2010).
- 81 Yanagida, M. Mostly DNA, a bit of glucose, and the next 50 years. *Mol Biol Cell* **21**, 3826, doi:21/22/3826 [pii] 10.1091/mbc.E10-04-0367 (2010).
- 82 Yoshida, K., Saito, N., Iriki, A. & Isoda, M. Representation of Others' Action by Neurons in Monkey Medial Frontal Cortex. *Current Biology* **21**, 249-253, doi:DOI 10.1016/j.cub.2011.01.004 (2011).

### ユニット在籍期間と研究業績の関係



### インパクトファクター別論文数の推移



- \* 1 平成 22 年度から、従来の暦年単位の集計方法を改め、年度の発表論文数を集計・公表することとした。平成 21 年度については、比較のため、暦年と年度の二つのデータを掲載している。
- \* 2 インパクトファクター： 論文の被引用回数の平均値で、雑誌の影響力を表す。

平成22年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
1	2010年5月24日-6月4日	国際ワークショップ 「定量的進化的比較ゲノミクス」	ジョナサン・ミラー (OIST) ホルガー・イェンケコダマ (OIST) アレクサンダー・ミケエブ (OIST) バイラッパ・ヴェンカテシュ (IMCBシンガポール)	ナダヴ・アヒトゥヴ (カリフォルニア大学サンフランシスコ校) ピーター・アント (マックスプランク研究所) ギル・ベジェラノ (スタンフォード大学) エマノイル・ダミザキス (ジェノバ大学) 五條堀 孝 (国立遺伝学研究所) ウェリ・グロスニクラウス (チューリッヒ大学) ジョトン・ヘイン (オックスフォード大学) ポール・リー (台湾国立中央大学) ナンシー・モラン (アリゾナ大学) エリック・ヴァン・ニムウェゲン (バーゼル大学) ハワード・オッチマン (アリゾナ大学) アニルヴァン・セングプタ (ラトナーガス大学) ギャスパー・トカチク (ペンシルベニア大学) ティン・ウ (ハーバードメディカルスクール)	OIST シーサイドハウス	講演者 17名 (海外 16, 日本 1) 参加者 44名 (海外 39, 日本 5) 聴講者 4名 (海外 0, 日本 4) 合計 65名 (海外 55, 日本 10)
2	2010年6月14日-7月1日	国際サマースクール 「沖縄計算神経科学コース2010」	エリック・デ・シュッター (OIST) 銅谷 賢治 (OIST) クラウス・シュティーフエル (OIST) ジェフ・ウィッケンス (OIST)	甘利 俊一 (理化学研究所 脳科学総合研究センター) ゴードン・アーバスノット (OIST) ロメイン・ブレッテ (エコール・ノルマル・シュペリウール) ピーター・ダヤン (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン) ポリス・グトキン (エコール・ノルマル・シュペリウール) ジャネット・ヘルグレン・コタレスキー (スウェーデン王立工科大学) ユージン・イジケヴィッチ (ブレイン・コーポレーション) アーラ・カーボバ (HHMI) 川人光男 (ATR) トーマス・クヌッフェル (理化学研究所 脳科学総合研究センター) クラウス・オーバーマイヤー (ベルリン工科大学) 大澤 五住 (大阪大学) タチャーナ・シャービー (ソーク研究所) ネルソン・スプラストン (ノースウェスタン大学)	OIST シーサイドハウス	講演者 18名 (海外 14, 日本 4) チューター 7名 (海外 7, 日本 0) 参加者 28名 (海外 25, 日本 3) 合計 53名 (海外 46, 日本 7)

平成22年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
3	2010年7月12日-22日	国際ワークショップ 「発生神経生物学コース」	デイヴィッド・ヴァンヴァクター (ハーバード大学医学部) 能瀬 聡直 (東京大学) メリー・アン・プライス (OIST) 政井 一郎 (OIST)	笹井 芳樹 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター) リー・フユイ・ツァイ (マサチューセッツ工科大学) 三浦 正幸 (東京大学) フランク・ガートラー (マサチューセッツ工科大学) エルケ・ステイン (イェール大学) 上村 匡 (京都大学) カン・シェン (スタンフォード大学) モーガン・シェング (ジェネンテック) 岡本 仁 (理化学研究所・脳科学総合研究センター) ジョン・フラナガン (ハーバード大学医学部) ニラオ・シャー (カリフォルニア大学サンフランシスコ校) 岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部) アレクサンダー・ウィットワース (シェフィールド大学) トーマス・ウォルツ (ハーワードヒューズ医学研究所/ハーバード大学医学部)	OIST シーサイドハウス	講演者 19名 (海外 12, 日本 7) フェーチャー 4名 (海外 3, 日本 1) 参加者 36名 (海外 27, 日本 9) 合計 59名 (海外 42, 日本 17)
4	2010年10月3日-6日	国際ワークショップ 「ニューロフィジオーム」	エリック・デ・シュッター (OIST) 荒田 晶子 (兵庫医科大学) トマス・ディック (ケース・ウェスタン・リザーブ大学) ケンダル・モリス (南フロリダ大学) 越久 仁敬 (兵庫医科大学) イリヤ・ルバク (ドレクセル大学) ジェームズ・シュウエイバー (トマス・ジェファソン大学)	ガブリエラ・アントゥネス (OIST) ケイト・フリーマン (トマス・ジェファソン大学) ゼイネブ・フーヤ・グームス (コーネル大学) キョンソ・ホン (ニューヨーク大学) 石井 信 (京都大学) 伊藤 正男 (理化学研究所 脳科学総合研究センター) 黒田 真也 (東京大学) 桑木 共之 (鹿児島大学大学院) ブルース・リンジー (南フロリダ大学) 野間 昭典 (立命館大学) テレサ・ピッツ (フロリダ大学) ナターリア・トポリコヴァ (ジョージア工科大学) 上田 泰己 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター) 山田陸裕 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター) ロバート・ザッカー (カリフォルニア大学バークレー校)	OIST シーサイドハウス	講演者/ 参加者 26名 (海外 16, 日本 10) 聴講者 3名 (海外 0, 日本 3) 合計 29名 (海外 16, 日本 13)

平成22年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
5	2010年10月6日-7日	国際ワークショップ 「沖縄における知的・産業クラ スターの形成を目指して」	エグゼクティブ・オフィス (OIST)	フィリップ・ヨー (シンガポールSPRING) 宮田 満 (日経BP社) 北野 宏明 (OIST) サッソン・ソメック (ミュゼア・ベンチャー) 平良 敏明 (沖縄県産業振興公社) 塚本 芳昭 (バイオインダストリー協会) ジュリー・マイヤー・ライト (サンディエゴ経済 開発公社) キャサリン・イバタ・アレンズ (デポール大学) 金城 和光 (沖縄ヒューマンキャピタル) 他31名	OIST キャンパス	講演者/ 参加者 40名 (海外 23, 日本 17) 聴講者 16名 (海外 2, 日本 14) 合計 56名 (海外 25, 日本 31)
6	2010年12月1日-3日	国際ワークショップ 「計算生態学ワークショップ」	御手洗 哲司 (OIST)	ロバート・ワーナー (カリフォルニア大学サンタ バーバラ校) ジェニファー・カゼツレ (カリフォルニア大学サ ンタバーバラ校) ステファン・モニスミス (スタンフォード大学) アマチュア・ゲニン (エルサレム・ヘブライ大学) ジェームズ・ミッチェル (フリンダース大学) 山崎 秀勝 (東京海洋大学) ポール・バーバー (カリフォルニア大学ロサンゼ ルス校) ルイ・ルジャンドル (ピエール&マリー・キュ リー大学) デイビッド・ロバートソン (エジンバラ大学) マルコム・アトキンソン (エジンバラ大学) ファン・パン・リン (国家高速コンピューターセン ター) シューワイ・レオン (マカオ大学) スコット・ギャラガー (ウッズホール海洋研究所) アンバー・ヨーク (ウッズホール海洋研究所)	OIST キャンパス & シーサイドハウス	講演者 23名 (海外 17, 日本 6) 聴講者 2名 (海外 0, 日本 2) 合計 25名 (海外 17, 日本 8)
7	2010年12月6日-11日	国際ウィンタースクール 「生物複雑系の進化コース 2010」	シドニー・ブレナー (OIST) マイケル・レヴィン (カリフォルニア 大学バークレー校) 佐藤 矩行 (OIST)	ダニエル・ロクサー (カリフォルニア大学バーク レー校) ロバート・クラムラウフ (ストワーズ医学研究所) ニバム・パテル (カリフォルニア大学バークレー 校) トーマス・ホルシュタイン (ハイデルブルク大学) 阿形 清和 (京都大学) 長谷部 光泰 (自然科学研究機構 基礎生物学研究 所) ロバート・シンクレア (OIST)	OIST シーサイドハウス	講演者 9名 (海外 6, 日本 3) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 聴講者 1名 (海外 0, 日本 1) 合計 50名 (海外 26, 日本 24)

平成22年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
8	2011年2月23日-26日	国際ワークショップ 「ガルダ・フォー」	北野 宏明 (OIST)	ファイユ・ミ (南カリフォルニア大学) 野村 泰伸 (大阪大学) ナターリア・ポリュリャーフ (Sony CSL) 舟橋 啓 (慶應義塾大学) ヴェンカタ・サタゴパム (EMBL) 松岡 由希子 (JST ERATO) リチャード・アダムス (エジンバラ大学) サミク・ゴッシュ (SBI) レインハルト・シュナイダー (EMBL)	OIST シーサイドハウス	講演者 10名 (海外 6, 日本 4) 参加者 15名 (海外 6, 日本 9) 合計 25名 (海外 12, 日本 13)
9	2010年7月29日	協賛ワークショップ 「脳と心のメカニズム」	文部科学省新学術領域研究 伝達創成 機構 日本神経回路学会 理化学研究所脳科学総合研究センター ATR 脳情報研究所 玉川大学グローバルCOE 神経計算ユニット (OIST) 他	伊藤 啓 (東京大学分子細胞生物学研究所) 岡本 仁 (理化学研究所・脳科学総合研究セン ター) マルク・ゾンマー (デューク大学) 田中 真樹 (北海道大学・大学院医学研究所) コンラッド・コーディング (ノースウエスタン大 学)	さっぽろ芸文館	-
10	2010年8月7日-8日	協賛ワークショップ 「人工知能国際会議評議会」	北野 宏明 (OIST/人工知能国際会議・ 議長)	クレイグ・ノブロック (南カリフォルニア大学) トビー・ウォルシュ (ニューサウスウェールズ大 学) セバスチャン・スラン (スタンフォード大学) フランチェスカ・ロッシ (パドヴァ大学) ラモン・ロベス・デ・マンタラス (IIIA/ CSIC) クレイグ・ポウティリアー (トロント大学) ファウスト・ジウンキグリア (トレント大学)	OIST シーサイドハウス	-
11	2010年11月4日	協賛ワークショップ 「平成22年度第2回身体性情報学 研究会」	電子情報通信学会	銅谷 賢治 (OIST) 井澤 淳 (電気通信大学) 山口 陽子 (理化学研究所 脳科学総合研究セン ター)	OIST シーサイドハウス	-
12	2010年11月5日-7日	協賛ワークショップ 「JSTさきがけ脳情報：第5回領 域会議」	科学技術振興機構 (JST)	伊佐 正 (生理学研究所) エリック・デ・シュッター (OIST) ジェフ・ウィッケンス (OIST)	OIST シーサイドハウス	-

平成22年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
13	2010年11月15日-17日	協賛ワークショップ 「原子核の新しい顔」	大塚 孝治 (東京大学) 堀内 昶 (RCNP) 岡 眞 (東京工業大学) ヴォルフガング・ベンツ (東海大学) 吉永 尚孝 (埼玉大学) 櫻井 博儀 (理化学研究所)	浅川 正之 (大阪大学) バハ・バラントキン (ウィスコンシン大学) ブルース・R・バレット (アリゾナ大学) B・アレックス・ブラウン (ミシガン州立大学) リチャード・F・キャステン (イエール大学) 金田-延与佳子 (京都大学) バーナード・フロイス (CEA) シドニー・ゲイルズ (GANIL) ジョセフ・N・ジノッキオ (ロスアラモス国立研究所) 平尾 泰男 (ANIM) フランセスコ・ヤケロ (イエール大学) ピエ・ヴァン・アイザック (GANIL) 石井 理修 (東京大学) モーテン・ユート-イエンセン (オスロ大学) 梶野 敏貴 (NAO) 上村 正康 (理化学研究所) 孟 潔 (北京大学) ピーター・ブラウン-ムンテンガー (GSI, EMMI) ヴィトルド・ナザレヴィッツ (ORNL, テネシー大学) 酒井 英行 (理化学研究所) 櫻井 博儀 (理化学研究所) 清水 則孝 (東京大学) ウルフ・スコグランド (OIST) イガル・タルミ (ワイツマン科学研究所) 田村 裕和 (東北大学) 外村 彰 (日立製作所/OIST) 土屋 誠 (琉球大学) ハンス・ヴィーデンムラー (マックス・プランク研究所) ユー・ミン・ツァオ (上海交通大学)	OIST キャンパス	



平成22年度 国際ワークショップ一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
14	2011年3月3日-5日	協賛ワークショップ 「第3回日独ジョイントワーク ショップ計算論的神経科学」	科学技術振興機構 (JST) ドイツ研究振興協会 (DFG) ドイツ教育研究省 (BMBF)	シュテファン・ロター (BCCN フライブルク/フライブルク大学) 篠本 滋 (京都大学) ミハエル・ローゼンブラム (ポツダム大学) 豊泉 太郎 (理化学研究所・脳科学総合研究センター) 西川 郁子 (立命館大学) ウルリヒ・エゲルト (BCCN フライブルク/フライブルク大学) 寺前 順之介 (理化学研究所・脳科学総合研究センター) トーマス・ヴェヒトラー (BCCN ミュンヘン/ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン) 石井 信 (京都大学) ギリアン・クワイサー (フランクフルト大学) 田村 弘 (大阪大学) 宮脇 陽一 (NICT/ATR) 片平 健太郎 (JST ERATO) ヘルゲ・リッター (ビーレフェルト大学) 伊藤 真 (OIST) マルティン・ゾンマー w/ミハエル・ニーチェ (ゲオルク・アウグスト大学) ジェフ・ウィッケンス (OIST) 深井 朋樹 (理化学研究所・脳科学総合研究センター) 銅谷 賢治 (OIST) 岡田 真人 (東京大学) 谷藤 学 (理化学研究所・脳科学総合研究センター) クラウス・オーバーマイヤー (BCCN/BFNT ヘルリン) ヨッヘン・トリーシュ (BFNT フランクフルト) フロレンティン・ヴォーグヴォッター (BCCN/BFNT ゲッティンゲン)	OIST シーサイドハウス	

平成22年度 セミナー一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
1	2010年4月2日	「アンフィポールの膜タンパク質研究への応用」	ファデル・サマテ (OIST)	ジャン・リュック・ポポ (フランス国立科学研究センター)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外 11, 日本 4) 合計 16名 (海外 12, 日本 4)
2	2010年4月6日	「ゼブラフィッシュ胚におけるgbx2ホメオボックス遺伝子の転写制御」	政井 一郎 (OIST)	エクラムル・イスラム (バングラデシュ国立ラジシャヒ大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 17名 (海外 2, 日本 15) 合計 18名 (海外 3, 日本 15)
3	2010年4月8日	「サリドマイド催奇性の主要な標的タンパク質 セレブロン」	政井 一郎 (OIST)	安藤 秀樹 (東京工業大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 24名 (海外 4, 日本 20) 合計 25名 (海外 4, 日本 21)
4	2010年4月8日	「インフルエンザウイルスRNAポリメラーゼに必須のサブユニット相互作用の構造的解明～新しい抗インフルエンザウイルス剤の開発に向けて」	ファデル・サマテ (OIST)	尾林 栄治 (横浜市立大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 14名 (海外 9, 日本 5) 合計 15名 (海外 9, 日本 6)
5	2010年4月9日	OIST 社内セミナー 「固定されたタンパク質分子は私たちにその動きを見せてくれる」	-	ウルフ・スコグランド (OIST スコグランドユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
6	2010年4月9日	OIST 社内セミナー 「大脳皮質ネットワークにおける細胞集合体の動的再構成」	-	ルイス・アルベルト・カリジョ・リード (OIST アーバスノットユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
7	2010年4月12日	「アリの外分泌腺の多様性と機能形態」	アレクサンダー・ミケエフ (OIST)	ヨハン・ピレン (ベルギー・ルーベン大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 5名 (海外 4, 日本 1) 合計 6名 (海外 5, 日本 1)
8	2010年4月19日	「SCRAPPERによるアクチブゾーン蛋白RIM1のユビキチン化を介した伝達物質放出制御機構」	高橋 智幸 (OIST)	高木 博 (早稲田大学)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 10, 日本 10) 合計 21名 (海外 10, 日本 11)
9	2010年4月21日	マリンゲノミックスセミナーシリーズ 「ホヤのHox遺伝子」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	生田 哲朗 (OIST 佐藤ユニット)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
10	2010年5月11日	「ドーパミン欠損モデルにおける運動誘発による内因性神経保護プロセス」	ゴードン・アーバスノット (OIST)	マイケル・ジグモンド (ピッツバーグ大学)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 30名 (海外 20, 日本 10) 合計 31名 (海外 21, 日本 10)
11	2010年5月12日-5月14日	「研究者養成コース： サバイバル・スキル研修/研究者の倫理指針について」	ゴードン・アーバスノット (OIST)	マイケル・ジグモンド (ピッツバーグ大学) ベス・フィッシャー (ピッツバーグ大学)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 2名 (海外 2, 日本 0) 参加者 58名 (海外 28, 日本 30) 合計 60名 (海外 30, 日本 30)

平成22年度 セミナー一覧

開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
2010年5月14日	OIST 社内セミナー 「樹状突起の分岐はなぜ平坦か？」	-	イーワ・キム (OIST デ・シュッターユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 45名 (海外 25, 日本 20) 合計 46名 (海外 26, 日本 20)
2010年5月14日	OIST 社内セミナー 「シナプス小胞エンドサイトーシスの発達制御～カルシウムナノドメインの関与」	-	山下 貴之 (OIST 高橋ユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 60名 (海外 30, 日本 30) 合計 61名 (海外 30, 日本 31)
2010年5月19日	「転写制御システムの分岐及びシス・トランスの共進化」	アレクサンダー・ミケエブ (OIST)	高野 敏行 (国立遺伝学研究所)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 10, 日本 10) 合計 21名 (海外 10, 日本 11)
2010年6月11日	OIST 社内セミナー 「長期記憶の転移」	-	グンナー・ヴィルケン (OIST シンクレアユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
2010年6月11日	OIST 社内セミナー 「強化学習：モデルフリーとモデルベースによる行動選択戦略のヒトの脳内メカニズム」	-	アラン・ホドリゲス (OIST 銅谷ユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
2010年6月15日	「消化管と脳の相互作用とエネルギー恒常性の調節」	内藤 隆之 (OIST)	カール・ハインツ・ヘルツィク (オウル大学)	OIST IRP 会議室	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 16名 (海外 4, 日本 12) 合計 17名 (海外 5, 日本 12)
2010年6月15日	マリンゲノミックスセミナーシリーズ 「スナギンチャク類を用いた未知の海洋生物多様性研究：プログレスレポート」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	ジェイムス・デビス・ライマー (琉球大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 1, 日本 23)
2010年6月16日	「水のない生活：ネムリユスリカ完全脱水の分子機構の解明」	佐藤 矩行 (OIST) ジョナサン・ミラー (OIST) アレクサンダー・ミケエブ (OIST)	奥田 隆 (農業生物資源研究所)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外 0, 日本 25) 合計 26名 (海外 0, 日本 26)
2010年6月17日	「大脳基底核異常が引き起こす寡動・多動の神経メカニズムと脳深部刺激による治療効果のメカニズムについて」	磯田 昌岐 (OIST)	ケヴィン・マックケアン (OIST 磯田ユニット)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 25名 (海外 15, 日本 10) 合計 26名 (海外 16, 日本 10)
2010年6月17日	「シナプスから核へ、そしてまたシナプスへの信号伝達」	銅谷 賢治 (OIST)	尾藤 晴彦 (東京大学大学院医学系研究科・医学部)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外 10, 日本 15) 合計 26名 (海外 10, 日本 16)
2010年6月23日	特別講演 「大脳基底核における情報の処理と統合」	内藤 隆之 (OIST)	中西 重忠 (大阪バイオサイエンス研究所)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 150名 (海外 75, 日本 75) 合計 151名 (海外 75, 日本 76)

平成22年度 セミナー一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
23	2010年6月30日	「STDPとドーパミン信号の組み合わせによる遅延報酬課題の解法」	銅谷 賢治 (OIST)	ユージン・イジケヴィッチ (ブレイン・コーポレーション)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 25名 (海外 10, 日本 15) 合計 26名 (海外 11, 日本 15)
24	2010年7月9日	マリンゲノミックスセミナーシリーズ 「淡水性カイメン (Ephydatia fluviatilis) の骨針形成と幹細胞システムの理解へむけて」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	船山 典子 (京都大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
25	2010年7月9日	OIST 社内セミナー 「Ciプロセッシングに関わる遺伝子の網羅的検索」	-	スペンサー・スプラット (OIST プライズユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
26	2010年7月9日	OIST 社内セミナー 「全ゲノム配列における分節重複の役割」	-	クン・ガオ (OIST ミラーユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
27	2010年7月12日	「有糸分裂の新たな制御要因：リン酸塩の新たな役割」	エグゼクティブオフィス	ティム・ハント (OIST)	OIST シーサイドハウス	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
28	2010年7月21日	マリンゲノミックスセミナーシリーズ 「海洋酸性化による海洋生態系への影響」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	栗原 晴子 (琉球大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
29	2010年7月29日	「ショウジョウバエによる上皮形態形成のメカニズム」	政井 一郎 (OIST)	林 茂生 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外 5, 日本 20) 合計 26名 (海外 5, 日本 21)
30	2010年8月5日	「ヌクレオポリンを中心にした染色体構造と遺伝子発現調節の解析」	人事グループ	ニコラス・ラスコム (EMBL)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 15名 (海外 7, 日本 8) 合計 16名 (海外 8, 日本 8)
31	2010年8月16日	「大型放射光施設Spring8におけるメールインデータ収集とマイクロフォーカスビームライン」	ファデル・サマテ (OIST)	宮武 秀行 (理化学研究所 基幹研究所)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 15名 (海外 6, 日本 9) 合計 16名 (海外 6, 日本 10)
32	2010年8月18日	マリンゲノミックスセミナーシリーズ 「プログレスレポート:クマムシゲノムプロジェクト」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	片山 俊明 (東京大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
33	2010年8月19日	「BioRubyの使い方」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	片山 俊明 (東京大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 3	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 10名 (海外 0, 日本 10) 合計 11名 (海外 0, 日本 11)

平成22年度 セミナー一覧

開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者	
34	2010年9月9日	「循環器系の脳幹による制御：過去、現在、未来」	ジェフ・ウィッケンス (OIST)	サイモン・マックミュラン (マッコーリー大学)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 12名 (海外 6, 日本 6) 合計 13名 (海外 7, 日本 6)
35	2010年9月10日	OIST 社内セミナー 「サンショウウオ網膜のリン脂質の組成と分布 (MALDIイメージ質量分析法を用いた単一細胞レベルにおける研究)」	-	マイケル・チャンドロ・ロイ (OIST 内藤ユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
36	2010年9月10日	OIST 社内セミナー 「Botryococcene生合成の初期段階における1-deoxy-D-xylulose 5-phosphate synthaseの機能解析とアイソフォームの同定」	-	ホルガー・イエンケコダマ (OIST イエンケコダマユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 21, 日本 20)
37	2010年10月1日	「単一生体分子イメージングのための低速電子線回折顕微鏡」	エグゼクティブオフィス	新竹 積 (理化学研究所)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 40名 (海外 25, 日本 15) 合計 41名 (海外 25, 日本 16)
38	2010年10月4日	マリゲノミックスセミナーシリーズ 「深海熱水噴出域の間での幼生分散」	マリゲノミックスユニット & マリン生態物理学ユニット (OIST)	渡部 裕美 (海洋研究開発機構)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
39	2010年10月15日	「同一の単一シナプス後ニューロンにシナプス形成しているニューロンを可視化する新規神経回路トレース法」	ゴードン・アースノット (OIST)	森 琢磨 (自然科学研究機構 生理学研究所)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 10, 日本 10) 合計 21名 (海外 10, 日本 11)
40	2010年10月22日	マリゲノミックスセミナーシリーズ 「ソーラー・パワーの恩恵を受ける海洋後生動物 (発光共生：共生生物の分布と伝達)」	マリゲノミックスユニット (OIST)	広瀬 裕一 (琉球大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 2	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
41	2010年11月2日	「てんかんにおけるネットワークオンレーションとその展望」	ゴードン・アースノット (OIST)	マーク・クレイマー (ボストン大学)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 35名 (海外 20, 日本 15) 合計 36名 (海外 21, 日本 15)
42	2010年11月8日	「光画像化と光神経刺激のための行動解析手法の設計」	銅谷 賢治 (OIST)	駒井 章治 (奈良先端科学技術大学院大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 10, 日本 10) 合計 21名 (海外 10, 日本 11)
43	2010年11月22日	「衝動的になることの良い理由：生態学的妥当性」	銅谷 賢治 (OIST)	松島 俊也 (北海道大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 10, 日本 10) 合計 21名 (海外 10, 日本 11)
44	2010年12月15日	「化学元素周期表中の (ほとんど) 全ての元素に関連する細菌遺伝子」	ファデル・サマテ (OIST)	サイモン・シルバー (イリノイ大学シカゴ校)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 18名 (海外 12, 日本 6) 合計 19名 (海外 13, 日本 6)

平成22年度 セミナー一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
45	2010年12月22日	「トポノゴフの比較定理において」	ロバート・シンクレア (OIST)	近藤 慶 (東海大学)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 2	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 9名 (海外 6, 日本 3) 合計 10名 (海外 6, 日本 4)
46	2010年12月22日	「適切な網膜網目形成におけるPTEN/PI3K経路の重要な役割」	政井 一郎 (OIST)	阪上 起世 (ジュールズ スタイン眼科研究所, カリフォルニア大学ロサンゼルス校)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 14名 (海外 4, 日本 10) 合計 15名 (海外 4, 日本 11)
47	2010年12月22日	「タンパク質キナーゼとホスファターゼ間の相互抑制システム; 細胞分裂周期からのレッスン」	柳田 充弘 (OIST)	持田 悟 (熊本大学)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 20名 (海外 3, 日本 17) 合計 21名 (海外 3, 日本 18)
48	2011年1月7日	「イメージング質量分析法とそのデータ解析」	高橋 智幸 (OIST)	瀬藤 光利 (浜松医科大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外 10, 日本 15) 合計 26名 (海外 10, 日本 16)
49	2011年1月14日	「生体超分子構造の極低電子顕微鏡観察」	ファデル・サマテ (OIST)	米倉 功治 (理化学研究所 放射光科学総合研究センター)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 11名 (海外 7, 日本 4) 合計 12名 (海外 7, 日本 5)
50	2011年1月14日	OIST 社内セミナー 「遺伝的にエンコードされた指標蛋白質を用いた覚醒状態におけるマウス小脳のカルシウムイメージング」	-	ベアン・クン (OIST クンユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 30名 (海外 15, 日本 15) 合計 31名 (海外 16, 日本 15)
51	2011年1月14日	OIST 社内セミナー 「水晶体の形態: どのように水晶体は形成されるか」	-	望月 俊昭 (OIST 政井ユニット)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 40名 (海外 20, 日本 20) 合計 41名 (海外 20, 日本 21)
52	2011年1月21日	マリゲノミックスセミナーシリーズ 「相互依存ゲノム: アブラムシと細菌共生生物」	マリゲノミックスユニット (OIST)	重信 秀治 (自然科学研究機構 基礎生物学研究所)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 23名 (海外 0, 日本 23) 合計 24名 (海外 0, 日本 24)
53	2011年2月2日	「新線条体における側枝抑制: 神経細胞集合での効果」	ゴードン・アーバスノット (OIST)	ピオレタ・ジゼル・ロベス (メキシコ 国立自治大学細胞生理学研究所)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 19名 (海外 10, 日本 9) 合計 20名 (海外 11, 日本 9)
54	2011年2月11日	「日本の教育と科学技術」	エグゼクティブオフィス	有馬 朗人 (OIST)	OIST キャンパス センター棟 B階 レクチャーホール	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 48名 (海外 22, 日本 26) 合計 49名 (海外 22, 日本 27)
55	2011年2月18日	マリゲノミックスセミナーシリーズ 「蛾の翼にみられる緑豊かな模様形態の統合」	マリゲノミックスユニット (OIST)	鈴木 誉保 (理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 2	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 25名 (海外 2, 日本 23) 合計 26名 (海外 2, 日本 24)

平成22年度 セミナー一覧

	開催日	テーマ	主催者	講演者	開催地	参加者
56	2011年2月18日	マリンゲノミックスセミナーシリーズ 「紅海のサンゴ礁エコゲノミクス」	マリンゲノミックスユニット (OIST)	クリス・ヴールストゥラ (サウジアラ ビア王立科学技術大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 2	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 25名 (海外 1, 日本 24) 合計 26名 (海外 2, 日本 24)
57	2011年3月9日	「前頭側頭葉記憶回路の生理学」	ロバート・シンクレア (OIST)	竹原 可織 (トロント大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 2	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 13名 (海外 9, 日本 4) 合計 14名 (海外 9, 日本 5)
58	2011年3月10日	「神経回路形成のために不可欠な軸索ス イッチ」	政井 一郎 (OIST)	河田 純一 (ノースウェスタン大学ファ インベルグ医科大学)	OIST キャンパス ラボ 1 C階 会議室 1	講演者 1名 (海外 0, 日本 1) 参加者 18名 (海外 6, 日本 12) 合計 19名 (海外 6, 日本 13)
59	2011年3月15日	「自己構築するナノ構造体とナノ素子」	ゴードン・アーバスノット (OIST)	サイモン・ブラウン (カンタベリー大 学)	OIST キャンパス ラボ 1 D階 会議室 1	講演者 1名 (海外 1, 日本 0) 参加者 18名 (海外 10, 日本 8) 合計 19名 (海外 11, 日本 8)

※他採用関係にてセミナー50件開催。参加者数1,039 (うち外国人数549, 日本人数490)

## ワークショップアンケート回答概要

### Quantitative Evolutionary and Comparative Genomics (QECG) 2010 定量的進化的比較ゲノミクス 2010

日付: 2010年5月24日～6月4日

回答数 33 件 (講師 8、参加者 25)

#### 1. 講義内容

優良 (21), 良 (10), 可 (1), 不可 (0), 未回答 (1)

#### 2. 会場設備

優良 (30), 良 (3), 可 (0), 不可 (0)

#### 3. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良 (24), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)

#### 4. 食事

優良 (17), 良 (13), 可 (2), 不可 (0), 未回答 (1)

#### 5. エクスカーション

優良 (18), 良 (6), 可 (2), 不可 (0), 未回答 (7)

#### 6. 事務局

優良 (32), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)

#### 7. 旅行手配

優良 (29), 良 (3), 可 (2), 不可 (0) ※1名は「優良」「良」の両方に回答。

#### 8. 沖縄の印象

優良 (21), 良 (8), 可 (3), 不可 (0), 未回答 (1)

### Okinawa Computational Neuroscience Course (OCNC) 2010

#### 沖縄計算神経科学コース 2010

日付: 2010年6月14日～7月1日

回答数 30 件 (講師 8、チューター 3、参加者 19)

#### 1. 講義内容

優良 (15), 良 (16), 可 (0), 不可 (0) ※1名は「優良」および「良」の両方に回答

#### 2. 講師、参加者との午後ミーティング

優良 (10), 良 (17), 可 (1), 不可 (0), 該当せず (3) ※1名は「優良」および「良」の両方に回答

#### 3. チュートリアル第1週 ※この質問はチューターおよび生徒にのみ適用

優良 (7), 良 (13), 可 (0), 不可 (0), 未回答 (2)

#### 4. 参加者のプロジェクト

優良 (11), 良 (13), 可 (1), 不可 (0), 該当せず (1), 未回答 (5) ※1名は「優良」および「良」の両方に回答

#### 5. ポスター発表

優良 (8), 良 (15), 可 (1), 不可 (0), 該当せず (2), 未回答 (4)

#### 6. ラボ見学 (6月22日)

優良 (9), 良 (15), 可 (0), 不可 (0), 該当せず (3), 未回答 (3)

#### 7. エクスカーション (日曜)

優良 (21), 良 (2), 可 (0), 不可 (0), 該当せず (4), 未回答 (3)

#### 8. 会場設備

優良 (22), 良 (6), 可 (1), 不可 (0), 未回答 (1)

#### 9. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良 (19), 良 (3), 可 (0), 不可 (0)

#### 10. 食事

優良 (2), 良 (20), 可 (8), 不可 (1) ※1名は「良」および「可」の両方に回答

#### 11. 事務局

優良 (29), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)



12. 旅行手配

優良 (20), 良 (7), 可 (3), 不可 (0)

Developmental Neurobiology Course (DNC) 2010

発生神経生物学コース 2010

日付: 2010年7月12日~7月22日

回答数 35 件 (講師 10、チューター3、参加者 22)

1. 講義内容

優良 (29), 良 (8), 可 (0), 不可 (0) ※2名は「優良」および「良」の両方に回答

2. 会場設備

優良 (33), 良 (2), 可 (0), 不可 (0)

3. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良 (22), 良 (3), 可 (0), 不可 (0)

4. 食事

優良 (24), 良 (11), 可 (0), 不可 (0)

5. エクスカーション (日曜日)

優良 (12), 良 (11), 可 (2), 不可 (0), 該当せず (8), 未回答 (2)

6. 事務局

優良 (35), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

7. 旅行手配

優良 (23), 良 (12), 可 (0), 不可 (0)

8. 沖縄の印象

優良 (27), 良 (7), 可 (1), 不可 (0)

The NeuroPhysiome  
ニューロフィジオーム

日付: 2010年10月3日~10月6日

回答数 11 件

1. 講義内容

優良 (3), 良 (6), 可 (0), 不可 (0), 未回答 (2)

2. 会場設備

優良 (9), 良 (1), 可 (1), 不可 (0)

3. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良 (7), 良 (3), 可 (0), 不可 (0)

4. 食事

優良 (7), 良 (4), 可 (0), 不可 (0), 未回答 (0)

5. 事務局

6. 旅行手配 ※日本側の参加者のみ

優良 (5), 良 (0), 可 (0), 不可 (0), 未回答 (6) ※未回答には「自己手配」を含む

7. 沖縄の印象

優良 (8), 良 (3), 可 (0), 不可 (0)

Computational Ecology Workshop

計算生態学ワークショップ

日付: 2010年12月1日~12月3日

回答数 11 件 (講師 9、OIST1)

1. 講義内容

優良 (8), 良 (3), 可 (0), 不可 (0)

2. 会場設備

優良 (10), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)

3. 食事

優良 (8), 良 (4), 可 (0), 不可 (0) ※1名は「優良」および「良」の両方に回答

4. キャンパス見学

優良 (5), 良 (3), 可 (2), 不可 (0), 該当せず (1)

5. 事務局

優良 (10), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)

6. 旅行手配

優良 (8), 良 (0), 可 (0), 不可 (0), 該当せず (3)

7. 沖縄の印象

優良 (9), 良 (1), 可 (0), 不可 (0), 未回答 (1)

Okinawa Winter Course

“Evolution of Complex Systems” (OWECS) 2010

生物複雑系の進化コース 2010

日付: 2010年12月6日~12月11日

回答数 29 件 (講師 5、参加者 23、その他 [ビジター1])

1. 講義内容

優良 (24), 良 (5), 可 (0), 不可 (0)

2. 会場設備

優良 (29), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

3. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良 (21), 良 (2), 可 (0), 不可 (0)

4. 食事

優良 (18), 良 (10), 可 (1), 不可 (0)

5. エクスカーション

優良 (14), 良 (12), 可 (1), 不可 (0), 該当せず (2)

6. 事務局

優良 (29), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

7. 旅行手配

優良 (24), 良 (4), 可 (1), 不可 (0)

8. 沖縄の印象

優良 (18), 良 (8), 可 (0), 不可 (0), その他 (3)

Garuda Four  
ガルーダ・フォー

日付: 2011年2月23日~26日

回答数 9 件 (講師 5、参加者 3、その他 1 (OIST 研究者))

1. 講義内容

優良 (8), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)

2. 会場設備

優良 (9), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

3. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良 (3), 良 (1), 可 (0), 不可 (0)

4. 食事

優良 (9), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

5. キャンパス見学

優良 (8), 良 (1), 可 (0), 不可 (0), 該当せず (1)

6. 事務局

優良 (9), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

7. 旅行手配

優良 (7), 良 (0), 可 (0), 不可 (0), 該当せず (2)

8. 沖縄の印象

優良 (9), 良 (0), 可 (0), 不可 (0)

平成22年度 国際ワークショップ参加者数

	国際ワークショップ 「定量的進化的比較ゲノミクス」					国際サマースクール 「沖縄計算神経科学コース2010」					国際ワークショップ 「発生神経生物学コース」					
	外国人		日本人		合計	外国人		日本人		合計	外国人		日本人		合計	
	海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		
講演者(非OIST)	15			1	16	9			1	3	13	9			6	15
講演者(OIST)			1		1				4	1	5			3	1	4
チューター(非OIST)						5			1		6	3				3
チューター(OIST)									1		1				1	1
参加者(非OIST)	30			2	33	25			1	2	28	23			3	29
参加者(OIST)				7	11				4					1	6	7
聴講者(非OIST)					4				4							
聴講者(OIST)																
合計	45	10		10	65	39	7		1	6	53	35	7		17	59

	国際ワークショップ 「ニューロフィジオーム」					国際ワークショップ 「沖縄における知的・産業クラスターの形成を目指して」					国際ワークショップ 「計算生態学ワークショップ」					
	外国人		日本人		合計	外国人		日本人		合計	外国人		日本人		合計	
	海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		
講演者(非OIST)	14			1	8	23	18			3	15	13			1	14
講演者(OIST)				2	1	3				2	1				4	5
チューター(非OIST)																
チューター(OIST)																
参加者(非OIST)																
参加者(OIST)																
聴講者(非OIST)					3	3					8				8	2
聴講者(OIST)									2		6				8	
合計	14	2		1	12	29	18	7		1	30	13	4		8	25

	国際ウインタースクール 「生物複雑系の進化コース2010」					国際ワークショップ 「ガルダ・フォー」								
	外国人		日本人		合計	外国人		日本人		合計				
	海外機関	日本機関	海外機関	日本機関		海外機関	日本機関	海外機関	日本機関					
講演者(非OIST)	5				2	7	4			2	3			9
講演者(OIST)					1	2					1			1
チューター(非OIST)														
チューター(OIST)														
参加者(非OIST)	19				2	6	3			2	4			11
参加者(OIST)					1	12				1	3			4
聴講者(非OIST)						1								
聴講者(OIST)														
合計	24	2			2	22	50	7	5		2	11		25



平成22年7月9日  
独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構

- プレスリリース -

沖縄科学技術大学院大学の初代学長予定者に  
ジョナサン・ドーファン博士を決定

2012 年度の開学に向けて準備を進めている沖縄科学技術大学院大学の初代学長予定者として、米国スタンフォード大学において線形加速器センター所長などの要職を歴任し、研究・マネジメントの両面で高い評価を得てきたジョナサン・ドーファン博士を決定しました。

この度、沖縄科学技術大学院大学学園設立委員は、国際的に著名な物理学者であり米国スタンフォード大学が運営する SLAC 国立加速器研究所（旧スタンフォード線形加速器センター）の名誉所長であるジョナサン・ドーファン博士を 2012 年度開学に向け準備中の沖縄科学技術大学院大学の初代学長予定者に選出しました。ドーファン博士の学長就任により、同博士の長年にわたる世界トップレベルの研究所の所長等としてのマネジメント経験と、国際共同プロジェクトを主導してきたリーダーとしての手腕が、大学院大学にもたらされることとなります。

ドーファン博士は、1976 年に米国カリフォルニア大学アーバイン校にて素粒子物理学に関する研究で博士号を取得後、スタンフォード大学で 30 年以上にわたって勤めました。1999 年～2007 年にはスタンフォード線形加速器センター（SLAC）の所長を務め、1,500 名の教職員を統括するとともに、25 カ国から集まったおよそ 3,000 名の科学者が参画する研究プロジェクトを束ねました。同博士の卓越したマネジメントの手腕により、かつては主に単一の研究目的のみにしか利用されていなかった素粒子実験施設を、素粒子物理学に加え、光量子科学や粒子宇宙物理学等あらゆる研究目的に活用される世界的にも有名な研究施設に生まれ変わらせました。ドーファン博士がディレクターとして主導した SLAC の B Factory での実験は、姉妹施設である高エネルギー加速器研究機構の B-factory（茨城県つくば市）での実験とともに、益川敏英博士や小林誠博士の理論を実証し、両氏に 2008 年ノーベル物理学賞受賞をもたらすとともに、素粒子物理学の発展に貢献しました。

現在、ドーファン博士は、英国のオックスフォード大学及びロンドン大学ロイヤルホロウェイ校、ドイツのマックスプランク研究所、イスラエルのワイツマン科学研究所等、世界の数多くの著名な大学・研究機関にアドバイザーや理事等の立場から参画しています。同博士は、これまでのキャリアを通じて国際的な科学者との幅広く多様なネットワークを築き、日本の著名な科学者達とも親交を深めてきました。

この初代学長予定者の選考は 1 年以上をかけて慎重に進められてきました。学術誌やホームページを通じた公募、設立委員のネットワーク等により、世界中から国籍や性別を問わず、研究・マネジメントの両面で優れた合計 160 名を候補者として抽出し、その中から設立委員による面接等を経て、最終的にドーファン博士が選ばれました。

設立委員は、今後、ドーファン博士に、世界中の卓越した教員・学生の獲得、カリキュラムの策定、さらには現在進みつつある世界規模の学術的連携や産業界との連携関係の構築に、大いに貢献していただけるものと確信しています。また、同博士の地域社会との積極的な交流活動を通じて、この大学院大学が沖縄の将来の発展に寄与するものとなることを期待しています。

ドーファン博士の略歴については、別紙をご参照ください。

## 沖縄科学技術大学院大学及び独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構について

沖縄科学技術大学院大学は沖縄科学技術大学院大学学園法に基づき開学準備が進められている新しい大学院大学で、沖縄において世界最高水準の科学技術に関する教育研究を行い、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に寄与することを目的としています。同法は、大学院大学の自主性と運営の柔軟性を尊重する観点から、同大学を特別な学校法人により設置されるものとし、また、国が同大学に対し安定的な支援を行うことができるものとしています。文部科学大臣への学校法人設立・大学設置の認可申請は平成23年3月に行う予定です。

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構は、沖縄において卓越した科学技術の研究を行うため、また、世界最高水準の国際的な大学院大学を設立する準備のため、平成17年9月に設立されました。理事長はシドニー・ブレナー博士（2002年ノーベル生理学・医学賞受賞）です。現在までに24の研究ユニット（研究者約170名）が発足し、神経科学、分子科学、数学・計算科学、環境科学の4分野において、学際的な研究活動を展開しています。また、国際ワークショップやコースの開催など、学生や若手研究者の育成にも力を入れており、これらの取組は国際的にも認知されています。機構は、2012年秋の大学院大学の開学（学生受入れ）に向け、こうした活動をさらに拡充していくこととしています。

## 沖縄科学技術大学院大学学園設立委員

沖縄科学技術大学院大学学園設立委員は、沖縄科学技術大学院大学学園法に基づき、世界最高水準の大学院大学の実現に向けた設立準備業務を行うものであり、平成21年9月1日に内閣総理大臣によって以下の9名が任命されました。学長の人選は、文部科学大臣への認可申請に必要な設立準備のための最重要事項の一つです。

ありま あきと  
有馬 朗人

財団法人日本科学技術振興財団会長、武蔵学園長、  
ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム会長

ジェローム・フリードマン

マサチューセッツ工科大学教授（1990年ノーベル物理学賞受賞）

ティム・ハント

英国がん研究所主席科学者（2001年ノーベル生理学・医学賞受賞）

かなざわ いちろう  
金澤 一郎

日本学術会議会長、東京大学名誉教授、皇室医務主管

くろかわ きよし  
黒川 清

政策研究大学院大学教授、東京大学名誉教授、  
前内閣特別顧問（科学、技術、イノベーション担当）、前日本学術会議会長

り えんてつ  
李 遠哲

台湾中央研究院名誉会長（1986年ノーベル化学賞受賞）

しょう ひろこ  
尚 弘子

琉球大学名誉教授、元沖縄県副知事

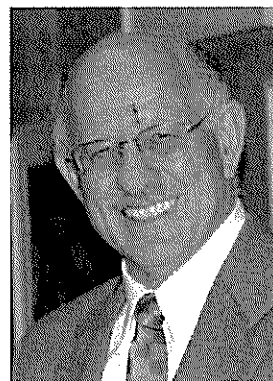
とねがわ すむ  
利根川 進

マサチューセッツ工科大学教授（1987年ノーベル生理学・医学賞受賞）  
独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター長

トーステン・ヴィーゼル

ロックフェラー大学名誉学長（1981年ノーベル生理学・医学賞受賞）

## ジョナサン・ドーファン博士 略歴



ジョナサン・ドーファン博士

専門: 物理学、加速器科学

### 学歴:

1969年 南アフリカケープタウン大学 物理学・応用数学 理学士号取得  
1976年 米国カリフォルニア大学アーバイン校 素粒子実験物理学 博士号所得

### 職歴

1989年-現在 スタンフォード線形加速器センター 教授  
1994-1999年 スタンフォード線形加速器センター 副所長  
1999-2007年 スタンフォード大学 エグゼクティブキャビネットメンバー  
1999-2007年 スタンフォード線形加速器センター 所長  
2007年-現在 SLAC 国立加速器センター (スタンフォード線形加速器センター) 名誉所長  
2007-2008年 スタンフォード大学 学長特別補佐

### 他の主要なポジション:

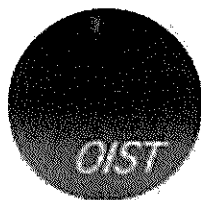
ワイツマン科学研究所 (イスラエル) 理事  
ワイツマン科学研究所 (イスラエル) 理事会、科学アドバイザー委員会共同代表  
SuperB 計画、マシンアドバイザー委員会 (イタリア) 代表  
米国 Large Synoptic Space Telescope 会社 理事会副代表  
米国物理学会、広報部門パネルメンバー副代表  
英国オックスフォード大学ジョンアダムス加速器科学研究所・ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校アドバイザーボードメンバー  
TRIUMF 国立研究協議会 (カナダ) アドバイザー委員会メンバー  
独国マックスプランク物理研究所、科学アドバイザーボードメンバー  
国際リニアコライダー (ILC) 国際共同設計チーム (GDE) (多国籍協力プロジェクト) 加速器アドバイザー委員会メンバー

### 受賞等:

ドレスデン技術大学 (ドイツ) 名誉博士号  
ケープタウン大学 (南アフリカ) 名誉博士号  
ニューヨーク科学アカデミー会員  
米国科学アカデミーフェロー  
米国物理学会フェロー

#### 【本件問合せ先】

独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構  
総務グループ コミュニケーション・広報課 広報担当: 名取 薫  
電話: (代表) 098-966-8711 (直通) 098-966-2389 FAX: 098-966-2152  
E-mail: [kaoru.natori@oist.jp](mailto:kaoru.natori@oist.jp) OIST ウェブサイト: <http://www.oist.jp>



## プレスリリース

大学院大学の設置に向けた準備の進捗状況について

平成22年10月9日

沖縄科学技術大学院大学学園設立委員

沖縄科学技術大学院大学学園設立委員は、大学院大学の管理運営体制、教育研究等について検討を行ってきた。これまで計4回の会合を通じて合意を得た事項を要約すれば、おおむね以下のとおりである。

### 1. 管理運営体制に関する事項

#### (1) 理事会

- 学校法人の意思決定機関である理事会は、10～20人の理事で構成する。
- 学長及びプロボスト（教育研究担当の上級副学長）を除いて理事は外部理事で構成することとし、それらの理事は以下の区分から選考する。
  - ・科学技術の発達に関し特に功績顕著な科学者
  - ・沖縄の振興に関して優れた識見を有する者
  - ・大学の経営に関して高度な知識及び経験を有する者
  - ・大学以外の組織の経営に関して高度な知識及び経験を有する者
- 今回の会合では、理事候補者の選考について検討を行った。

#### (2) 学長

- 大学院大学の初代学長予定者には、本年7月にジョナサン・ドーファン博士（米国SLAC国立加速器研究所名誉所長）が決定している。
- 大学院大学の学長は、学校法人の理事長（CEO：執行責任者）を兼務する。

### 2. 教育研究に関する事項

#### (1) 教員

- 教員の半数以上は、外国人とする。
- 開学時点の教授陣はおおむね50人規模を想定し、現在、精力的に採用活動を進めている。

#### (2) 学生

- 毎年約20人の博士課程の学生を受け入れる（収容定員は計100人）。そのうち半数以上は外国人とする。
- 今回の会合では、アドミッション・ポリシー及び学生募集計画等について検討を行った。

- 来年秋の学校法人と大学の設置認可後に正式に学生の募集を開始する。
- 広報活動の充実や、学部学生を対象としたワークショップの開催など、学生募集のための活動を積極的に推進する。

### (3) 教育課程

- 教育研究はすべて英語で行う。
- 5年一貫の博士課程を置き、基本的に博士号(「博士(学術)」)の取得を目的とした学生のみを受け入れる。
- 学生一人一人の特性を重視し、個々の要望及び学習歴に応じたテーラーメイド型の履修プログラムを提供する。
- 講義は、学際的な最先端の研究内容をトピックとし、対話型個別指導形式で行う。
- 3つの研究室で実習を行うラボ・ローテーションを課し、学生に研究室選択の時間を与え、多様な技術及び思考方法に対する理解を深めさせる。
- 学生に対する研究指導を複数の教員で実施し、学際的な教育研究を行う。

### (4) 学生への経済的支援等

- ロックフェラー大学、MIT、スタンフォード大学、ハーバード大学等の世界最高水準の学際的な科学技術大学院大学等に伍して優秀な学生を集めるためには、学生に対して十分な経済面及びその他の支援措置を講ずることが不可欠である。このため、国内外の実例を踏まえつつ、今後更に具体的な検討と制度設計を進める。

### 3. 開学までのスケジュール

- 今年度末までに文部科学省へ設置認可申請を行い、平成23年秋に学校法人への移行及び大学院大学の設置を目指す。
- 第1期生の入学時期については、平成24年9月とする。4月が通常の入学時期となっている国内の学生等へ配慮した制度について引き続き検討する。





- プレスリリース -

## 沖縄科学技術大学院大学の創設に向けて

平成 23 年 2 月 10 日

(独) 沖縄科学技術研究基盤整備機構運営委員会  
沖縄科学技術大学院大学学園設立委員

平成 23 年 2 月 9 日に沖縄科学技術大学院大学学園の設立委員会合（第 5 回）が、同 10 日に独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構（機構）の運営委員会（第 12 回）が、それぞれ開催されました。沖縄科学技術大学院大学（OIST）の設立事業は、ノーベル賞受賞者を含む世界的に著名な科学者等から構成される両委員会の提言のもとに推進されています。今回の会合は、政府に対して大学院大学の設置認可申請が行われる前の最後の会合となり、大変意義深いものであったといえます。

沖縄科学技術大学院大学初代学長予定者であるジョナサン・ドーファン博士からは、現在、大学院大学の設置認可に向けた最終段階にあり、着実な進捗が得られているとの報告がありました。同博士は、教員の採用活動について、これまで 548 名の研究者から応募があり（うち 417 名は外国の機関に所属）、その内の 45 名がここ沖縄で面接を受けるなど、大きな前進があったことを強調し、大学開学時までには、必要とされる優秀な教授陣が確保されるとの考えを示しました。また、優秀な研究者の採用に尽力している機構職員に対して感謝の意が表されました。

また、平成 23 年予算案についての報告もありました。「元気な日本復活特別枠」の中で措置された高性能電子顕微鏡や小型光源装置については、特に大学院大学の分子イメージング分野での研究基盤の強化につながるものです。この他、沖縄海洋環境観測システムとゲノム解析用高性能コンピューターについても、特別枠の中で措置されています。

機構のプレナー理事長からは、機構の事業の成果として、国内外の数々の大学・研究機関と連携協定の締結等を含め協力関係を築いてきたことが挙げられました<sup>※1</sup>。また、現在、複数の大学とも連携に向けた話合いが進められていることについても報告されました<sup>※2</sup>。

※ 1 （国内）琉球大学、奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、京都大学

（海外）米国ソーク研究所、米国アレン脳科学研究所、カナダオタワ大学、ベルギーアントワープ大学、英国エジンバラ大学、ニュージーランドオタゴ大学

※ 2 米国スタンフォード大学、米国ハーバード大学、パレスチナアルクドス大学、米国カリフォルニア大学サンディエゴ校

設立委員からは、前回の会合に続いて、沖縄科学技術大学院大学が国内及び国外の大学との間における最優秀の学生獲得競争を勝ち抜くためには、世界の最高水準の大学が提供している水準の経済的支援を学生に提供する必要があるとの意見が述べられました。それに加え、今回の会合では、そのような経済的支援の財源をいかに確保していくかという点についても建設的な検討が行われました。

沖縄科学技術大学院大学は学校法人により設置されることから、ガバナンス組織の一つとして、国内外、そして沖縄関係者で構成される評議員会を設けることとなっています。現在、その候補者への就任依頼を進めており、およそ 35 名からなる最終的な評議員については、本年 11 月の学園設立前に公表予定です。評議員会には、それぞれ異なる分野の審議を担当する複数の分科会を設け、理事長に審議結果が伝えられることとなる予定です。

2月10日の会合では、運営委員から沖縄の自立的発展に貢献することの重要性が指摘され、昨年10月に開催された国際シンポジウム「知的・産業クラスターの形成を目指して」に携わった役職員に対して感謝の念が述べられました。同シンポジウムには来賓として挨拶を述べた内閣府の末松義規副大臣（当時）、アメリカ合衆国のジョン・V・ルース駐日大使、沖縄県の仲井眞弘多知事のほか、志喜屋文康恩納村長を含む約180名が参加しました。また、機構が沖縄県や琉球大学等と連携の下、うるま市の施設において、ゲノム研究が進めていることについても、評価する意見がありました。

このほか、運営委員会会合では、研究・教育活動、財務及び事務業務等に関する報告がありました。このなかで、建設中の第2研究棟と講堂の進捗状況や、整備予定のビレッジゾーン（教員・学生向け宿舎）の計画概要についても説明がありました。

ジョナサン・ドーファン初代学長予定者のコメント：

「大学院大学と沖縄にとってエキサイティングで歴史的な時を迎えています。科学技術の教育研究を行う大学の新しいモデルが今まさに生まれようとしています。認可申請に準備を進める中で、その実現に向けた機運が大いに高まっていることに感銘を受けており、運営委員及び設立委員の御指導・御支援に感謝しています。」

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構運営委員

ありま あきと

有馬 朗人博士 (共同議長)

財団法人日本科学技術振興財団会長、武蔵学園長、静岡文化芸術大学理事長、  
ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム会長

ジェローム・フリードマン博士

マサチューセッツ工科大学教授 (1990年ノーベル物理学賞受賞)

ティム・ハント博士

英国がん研究所 (2001年ノーベル生理学・医学賞受賞)

かなざわ いちろう

金澤 一郎 博士

日本学術会議会長、東京大学名誉教授、皇室医務主管

くろかわ きよし

黒川 清 博士

政策研究大学院大学教授、東京大学名誉教授、  
前内閣特別顧問 (科学、技術、イノベーション担当)、前日本学術会議会長

リ えんてつ

李 遠哲博士

台湾中央研究院名誉会長 (1986年ノーベル化学賞受賞)

マーティン・リース博士

ケンブリッジ大学トリニティカレッジ学長

しょう ひるこ

尚 弘子博士

琉球大学名誉教授、元沖縄県副知事

とねがわ すすむ

利根川 進 博士

マサチューセッツ工科大学教授 (1987年ノーベル生理学・医学賞受賞)

トーステン・ヴィーゼル博士 (共同議長)

ロックフェラー大学名誉学長 (1981年ノーベル生理学・医学賞受賞)

大学院大学キャンパスと本会合の写真はOISTホームページをご参照下さい。

<http://www.oist.jp/ja/pressarchive/150-2011/747-bog12-mem5-report.html>

沖縄科学技術大学院大学について

沖縄科学技術大学院大学は、沖縄科学技術大学院大学学園法に基づき開学準備が進められている新しい大学院大学で、沖縄において世界最高水準の科学技術に関する教育研究を行い、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に寄与することを目的としています。現在までに27の研究ユニット(研究者約170名)が発足し、神経科学、分子科学、数学・計算科学、環境科学の4分野において、学際的な研究活動を展開しています。また、国際ワークショップやコースの開催など、学生や若手研究者の育成にも力を入れており、これらの取組は国際的にも認知されています。機構は、平成24年秋の大学院大学の開学(学生受入れ)に向け、こうした活動を更に拡充していくこととしています。

声明文  
沖縄科学技術大学院大学学園設立委員  
平成22年10月8日

○ I S T の大学院生に対する競争力ある経済的支援の必要性について

設立委員は、沖縄科学技術大学院大学が、国内及び国外の大学との間における最優秀の学生獲得競争を勝ち抜くためには、世界の最高水準の大学が提供している水準に匹敵する経済的支援を学生に提供することが不可欠であることを強く主張する。

平成22年度における随意契約見直し計画のフォローアップ

随意契約と平成19年度、平成20年度、平成21年度、平成22年度に締結した契約の状況

(単位:件、億円)

	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(16.2%) 42	(52.3%) 25.72	(37.8%) 79	(89.0%) 79.69	(76.4%) 149	(91.4%) 73.61	(76.7%) 165	(89.7%) 87.37	(86.1%) 167	(90.8%) 89.23	(80.0%) 156	(91.5%) 73.73
企画競争・公募	(0%) 0	(0%) 0	(4.3%) 9	(2.3%) 2.06	(6.2%) 12	(4.7%) 3.75	(5.6%) 12	(3.5%) 3.38	(3.1%) 6	(4.4%) 4.35	(5.6%) 11	(4.6%) 3.74
競争性のある契約 (小計)	(16.2%) 42	(52.3%) 25.72	(42.1%) 88	(91.3%) 81.75	(82.6%) 161	(96.1%) 77.36	(82.3%) 177	(93.2%) 90.75	(89.2%) 173	(95.2%) 93.58	(85.6%) 167	(96.2%) 77.47
競争性のない随意 契約	(83.8%) 217	(47.7%) 23.45	(57.9%) 121	(8.7%) 7.78	(17.4%) 34	(3.9%) 3.17	(17.7%) 38	(6.8%) 6.62	(10.8%) 21	(4.8%) 4.70	(14.4%) 28	(3.8%) 3.08
合計	(100.0%) 259	(100.0%) 49.17	(100.0%) 209	(100.0%) 89.53	(100.0%) 195	(100.0%) 80.54	(100.0%) 215	(100.0%) 97.37	(100.0%) 194	(100.0%) 98.27	(100.0%) 195	(100.0%) 80.54

● 一覧表

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構 平成22年度における調達について(一覧表)

契約担当官の指名並びにその所属する部局の名称及び住所(独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構 理事長 シドニー・ブレナー 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1)

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ昇格した役員数	備考
1	火災保険契約 一式	平成22年4月1日	5,197,960	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	日本興亜損害保険株式会社 東京都千代田区霞が関3-7-3	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
2	水棲生物飼育装置一式	平成22年4月1日	142,275,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
3	財務会計業務に関するコンサルト業務	平成22年4月1日	3,360,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	新日本有限責任監査法人 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル	-	1	前年度からの継続案件で、かつ専門性の高い契約であり、他の業者が新規参入に消極的になってしまうため。		▲
4	勤怠管理システムの導入 一式	平成22年4月1日	2,010,750	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	HOYAサービス株式会社 東京都新宿区高田馬場1丁目29番9号	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
5	シーサイドハウス施設整備業務	平成22年4月1日	16,065,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄ビルメンテナンス株式会社 沖縄県那覇市曙2丁目8番18号	-	5	-		▲
6	QSTAR Eliteの保守点検	平成22年4月1日	1,761,900	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
7	生物顕微鏡TIRF-C1Si保守	平成22年4月1日	1,995,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社猪原商会沖縄営業所 沖縄県那覇市久米1丁目7番10号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
8	サラマングー系統樹立委託業務	平成22年4月1日	7,347,060	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	有限会社土浦親賢魚 茨城県土浦市蓮河原新町2-12	-	1	前年度からの継続案件で、かつ専門性の高い契約であり、他の業者が新規参入に消極的になってしまうため。		
9	シーサイドハウス建物点検及び保守業務	平成22年4月1日	5,565,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄県ビルメンテナンス協同組合 沖縄県那覇市曙2-27-14	-	2	-		
10	分子間相互作用解析システム等の保守	平成22年4月1日	3,675,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ロジックバイオ 大阪府茨木市中穂積3-14-10	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
11	X線回折装置保守	平成22年4月1日	4,095,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ロジックバイオ 大阪府茨木市中穂積3-14-10	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
12	カールツァイス社製顕微鏡の保守	平成22年4月1日	10,782,450	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
13	キャピラリーセンサの保守	平成22年4月1日	8,977,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
14	ロッッシュシーケンサの保守	平成22年4月1日	21,672,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
15	Web of Science利用権一式の購入	平成22年4月1日	4,357,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社紀伊國屋書店 福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
16	APC Symmetra PX 2G UPS等の保守	平成22年4月1日	12,686,100	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社NTTファシリティーズ 東京都港区芝浦三丁目4番1号	-	2	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
17	透過電子顕微鏡の保守	平成22年4月1日	7,711,200	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	日本電子株式会社福岡支店 福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
18	MS4及びHTS-PAL保守点検	平成22年4月1日	1,092,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄ノボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
19	給与計算システムFX-Ware保守/運用処理	平成22年4月1日	2,122,575	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	みずほ情報総研株式会社 大阪府大阪市中央区今橋4丁目2番1号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
20	レーザーマイクロイメージングLMDの保守	平成22年4月1日	1,050,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
21	実験動物飼育管理・環境検査・モニタリング委託	平成22年4月1日	56,350,140	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ケー・エー・シー 京都府京都市中京区西ノ京西月光町40番地	-	1	動物施設の維持管理、実験機器の操作等を含むものであり、供給者が交代した場合、社員教育などを新規の業者の負担に行うことになり、新規の業者が労力、資金の提供に消極的になってしまうため。		▲
22	BD FACS Aria保守	平成22年4月1日	1,417,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
23	走査型多光子レーザー顕微鏡システムの保守	平成22年4月1日	13,226,850	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社中央医療器 沖縄県島尻郡南風原町宇神里409番地の5	-	2	-		
24	ターボ冷凍機保守一式	平成22年4月1日	3,780,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社東洋設備 沖縄県那覇市天久1122番地	-	2	-		
25	ハイブリッド7-リニア変換型質量分析装置の保守	平成22年4月1日	16,383,570	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ウインクス 大阪府大阪市松ヶ枝町1番39号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
26	三菱製エレベーターの保守 一式	平成22年4月1日	3,805,200	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄電電ビルシステム株式会社 沖縄県那覇市久茂地1-3-1	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
27	中央監視装置保守点検	平成22年4月1日	3,139,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社沖縄計装 沖縄県那覇市泊3丁目5番7号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
28	低負荷運転時排水処理施設維持	平成22年4月1日	9,240,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社エス・エル 大阪府大阪市福島区野田5丁目17番22号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
29	IRP実施施設建物管理	平成22年4月1日	18,522,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	日本総合整美株式会社 沖縄県那覇市若狭2丁目3番15号	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
30	IRP実施施設清掃業務	平成22年4月1日	11,718,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	日本総合整美株式会社 沖縄県那覇市若狭2丁目3番15号	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
31	総合業務システム保守・運用サービス一式	平成22年4月1日	5,040,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	NECネクサソリューションズ株式会社 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
32	シーサイドハウス清掃業務	平成22年4月1日	5,565,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄ビルメンテナンス協同組合 沖縄県那覇市曙2-27-14	-	2	-		
33	アフィトリックス保守	平成22年4月1日	2,588,250	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
34	BD FACSCalibur保守	平成22年4月1日	1,197,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原宇津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
35	イルミナシーケンサの保守	平成22年4月1日	7,560,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄ノボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
36	Mascot 4CPUの保守	平成22年4月1日	1,176,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	マトリックスサイエンス株式会社 東京都千代田区外神田6-10-12 KNCビル3F	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
37	日立社製エレベーター保守 一式	平成22年4月1日	2,742,012	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社沖縄日立 沖縄県那覇市おもろまち1丁目3番31号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
38	交流センター施設整備業務	平成22年4月1日	13,902,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	新報警備保障総合ビル管理株式会社 沖縄県沖縄市中央4丁目13番1号	-	5	-		
39	ネットワーク機器保守サービス	平成22年4月1日	3,654,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	三井情報株式会社 東京都港区愛宕二丁目5番地1号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
40	各拠点間を接続するための回線サービス	平成22年4月1日	4,939,200	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄通信ネットワーク株式会社 沖縄県那覇市東町4番地1	-	1	供給者が交代した場合、新規の供給者が新たな回線の提供に伴う労力、資金の負担に消極的になってしまうため。		
41	大学キャンパス-SINET琉球大学ノード間を相互接続するための回線サービス	平成22年4月1日	9,172,800	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄通信ネットワーク株式会社 沖縄県那覇市東町4番地1	-	1	供給者が交代した場合、新規の供給者が新たな回線の提供に伴う労力、資金の負担に消極的になってしまうため。		
42	ワークショップ宿泊施設手配業務	平成22年4月1日	バスース21,000円 オフース14,070円	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社パノラマホテルズ・ワン 東京都渋谷区恵比寿4-20-3	-	2	-		
43	ワークショップのケータリング手配業務	平成22年4月1日	朝食2,100円 昼食2,100円 夕食3,675円 レセプション5,775円	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社KPG HOTEL & RESORT 長崎県長崎市伊王島町1丁目甲3277番地7	-	4	-		
44	研究交流センタープロパンガスの購入	平成22年4月1日	214円/ℓ	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄ガス株式会社 沖縄県那覇市西3丁目13番2号	-	3	-		
45	物品の保管	平成22年4月1日	保管料1,260円 入庫料1,050円 出庫料1,050円	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	琉球物流株式会社 沖縄県那覇市港町2丁目17番13号	-	1	供給者が交代した場合、既に入庫されている物品の移動が必要になるため、新規の供給者が移動に伴う労力の提供、資金の負担に消極的になってしまうため。		
46	産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)及び感染性産業廃棄物の収集・運搬・処理業務	平成22年4月1日	産廃42円 収集運搬費945円	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社環境ソリューション 沖縄県沖縄市登川3328番地	-	2	-		
47	特別管理産業廃棄物(感染性産業廃棄物)の収集・運搬・処理業務	平成22年4月1日	動物死体126円 尿酸その他105円 収集運搬費420円	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社環境ソリューション 沖縄県沖縄市登川3328番地	-	2	-		
48	ゲノム解析コンピュータの保守	平成22年4月1日	4,741,016	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	日本SGI株式会社 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
49	High Performance Computerの保守	平成22年4月1日	1,414,700	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	新日鉄ソリューションズ株式会社 東京都中央区新川2丁目27番1号	-	4	-		
50	什器及び複合機の賃貸借	平成22年4月1日	7,045,920	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社おきぎんリース 沖縄県那覇市前島二丁目21番1号	-	2	-		
51	トリップユニット什器及び複合機の賃貸借	平成22年4月1日	1,137,780	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社おきぎんリース 沖縄県那覇市前島二丁目21番1号	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		



番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
52	H22年度沖縄科学技術・研究交流センター賃貸借	平成22年4月1日	48,181,124	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	財団法人 沖縄科学技術振興センター 沖縄県那覇市旭町1番地	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 研究実施場所の賃貸借契約であり、当該賃貸借物件でなければ研究目的を達成できないため	-	-		
53	H22年度沖縄県健康バイオテクノロジーセンター賃貸借	平成22年4月1日	1,160,805	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄県 新産業振興課 沖縄県うるま市州崎12-22	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 研究実施場所の賃貸借契約であり、当該賃貸借物件でなければ研究目的を達成できないため	-	-		
54	H22年度沖縄県健康バイオテクノロジーセンター研究室賃貸借	平成22年4月1日	6,048,000	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄県 新産業振興課 沖縄県うるま市州崎12-22	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 研究実施場所の賃貸借契約であり、当該賃貸借物件でなければ研究目的を達成できないため	-	-		
55	H22年度沖縄県工業技術センター賃貸借	平成22年4月1日	8,773,028	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄県 工業技術センター 沖縄県うるま市州崎12-2	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 研究実施場所の賃貸借契約であり、当該賃貸借物件でなければ研究目的を達成できないため	-	-		
56	図書(電子ジャーナルElsevier ScienceDirect)	平成22年4月1日	29,153,087	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	Elsevier B.V. 1043NX Amsterdam, Netherlands	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 当該電子書籍はオランダ・エルゼビア・ビー・ブイ社のみから提供されているため	-	-		
57	業務車両の賃貸借(プリウス)	平成22年4月1日	803,880	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社琉球リース 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 前年度まで契約していたリース契約の再リース契約	-	-		
58	税務相談費用	平成22年4月1日	1,144,395	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	税理士法人プライスウォーターハウスクーパース 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2-5	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 同法人は、日本における外国人に係る税務に精通し、着実な業務の遂行が認められることから随意契約を行ったものである。	-	-		
59	弁護士報酬(人事に関する法的助言)	平成22年4月1日	3,738,180	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	長島・大野・常松法律事務所 東京都千代田区紀尾井町3-12	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 同事務所は、人事・労務に係る諸問題に精通し、着実な業務の遂行が認められることから随意契約を行ったものである。	-	-		
60	研究交流センター 電気料	平成22年4月1日	36,587,593	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄電力株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目2番1号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 当該地域で唯一の供給者であるため	-	-		
61	研究棟1及びセンター棟 電気料	平成22年4月1日	196,735,024	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄電力株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目2番1号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 当該地域で唯一の供給者であるため	-	-		
62	5月国際ワークショップ開催支援業務	平成22年4月9日	11,694,570	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル 東京都品川区東品川12-3-11 JTBビル15階	-	2	-		
63	国際サマースクールOCNC2010開催支援業務	平成22年4月9日	10,791,020	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社日本旅行 東京都港区新橋2丁目20番15号	-	2	-		
64	日本語研修 一式	平成22年4月28日	90分授業9,135円 60分授業5,985円	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社日本文化経済学院 沖縄県那覇市西2丁目12番14号	-	2	-		▲
65	交流センター補給管理業務	平成22年4月28日	945,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社桃原農園 沖縄県那覇市牧志2丁目7番22号	-	5	-		
66	シャトルバス運行業務	平成22年4月28日	4,662,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	有限会社ハイウェイ沖縄 沖縄県那覇市具志3丁目13番地10号	-	3	-		
67	沖縄科学技術大学院大学(仮称)環境モニタリング調査(平成22年度)	平成22年5月1日	33,075,000	公募	36,855,000	89.7%	日本工営(株)・(株)イーエーシー共同 (代表者) 日本工営株式会社沖縄事務所 沖縄県那覇市金城5-5-8 2階	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 (公募公募型プロポーザル方式による随意契約)	3	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応礼の場合、一者応礼となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
68	7月国際ワークショップ開催支援業務(国際航空券)	平成22年5月10日	9,958,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	近畿日本ツーリスト株式会社 東京都千代田区神田松永町19番の2	-	4	-		
69	2009年度年次報告書の印刷	平成22年5月10日	2,730,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄高速印刷株式会社 沖縄県南風原町字兼城577番地	-	7	-		
70	ERP先行検討課題解決支援業務	平成22年5月10日	19,845,000	随意	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ビジネスブレイン太田昭和 東京都港区南麻布2-12-3	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 前年度に企画競争方式により業者選定された契約と密接に関連する業務であるため。	-	-		
71	大型計算機システムの賃借	平成22年5月12日	2,000,000	随意	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	国立大学法人京都大学 学術情報メディアセンター 京都府左京区吉田本町	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 機構の研究目的を達成することが可能なのは、同大学所在の大型電子計算機のみであるため。	-	-		
72	研究機器 一式の購入	平成22年5月28日	6,961,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖純/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
73	吸収冷温水発生機保守業務一式	平成22年5月28日	1,260,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	川重冷熱工業株式会社 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目5番7号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
74	特殊ガス配管設備保守点検	平成22年5月28日	3,465,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	エア・ウォーター防災株式会社 大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目18番31号	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機器の供給者又はメーカーの代理店しか応札できないため。		
75	特別高圧及び高圧受変電設備保全業務一式	平成22年5月28日	12,075,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	財団法人沖縄電気保安協会 沖縄県那覇市西三丁目8番21号	-	1	当機構の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応礼となったもの。		
76	学園設立委員第3回会合開催支援業務	平成22年5月31日	2,054,934	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ニューオータニ 東京都千代田区紀尾井町4-1	-	5	-		
77	英語研修 一式	平成22年6月11日	17,850円/1授業	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	マイケル・ホーランド 沖縄県中頭郡北谷町北谷2丁目20番13号	-	1	当機構の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応礼となったもの。		
78	DNA増幅装置 一式の購入	平成22年6月11日	3,917,025	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
79	新呉工業社製空調機設備保守業務一式	平成22年6月11日	9,240,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	九州三建サービス株式会社 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目4番5号	-	4	-		
80	日本ビーマックス社製ヒートポンプ設備保守業務一式	平成22年6月11日	2,079,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	九州三建サービス株式会社 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目4番5号	-	2	-		
81	冷却水処理剤の購入	平成22年6月11日	1,995円/kg	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄環境企画株式会社 沖縄県那覇市字真地183番地	-	2	-		
82	恩納キャンパス緑地管理業務一式	平成22年6月25日	8,354,346	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	有限会社琉球人材派遣センター 沖縄県沖縄市室川2丁目8番13号	-	6	-		
83	振動刃マイクローム一式の購入	平成22年6月25日	2,016,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
84	超低温フリーザー 一式の購入	平成22年6月25日	2,047,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社森山商事 沖縄県那覇市寄客2丁目29番22号	-	3	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応れの場合、一者応れとなった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
85	東芝製スーパーフレックスモジュールレーザー保守業務一式	平成22年6月25日	1,207,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	東芝キャリア株式会社 福岡県福岡市中央区長浜2丁目4番1号	-	4	-		
86	思納キャンパス防災設備保守業務一式	平成22年6月25日	4,410,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	日本総合整美株式会社 沖縄県那覇市若狭2丁目3番15号	-	7	-		
87	A重油の購入(その2)	平成22年6月25日	63.3円/L	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	瑞穂石油株式会社 沖縄県西原町字小那覇1193番6	-	4	-		
88	Biomek FX保守業務一式	平成22年6月28日	2,610,090	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	納入元による保守契約が必須であり、機製の供給者又はメーカーの代理店しか応れできないため。		
89	RI実験に係る共通機器一式の購入	平成22年6月28日	2,987,460	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
90	山武社製エネルギー管理装置運転支援業務一式	平成22年6月28日	9,870,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社日建設計 東京都千代田区飯田橋2-18-3	-	2	-		
91	山武社製中央監視装置保守及び運転支援業務一式	平成22年6月28日	10,416,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	ダイダシ株式会社 福岡県福岡市中央区雲園3丁目1番24号	-	3	-		
92	超高精度スライサー 一式の購入	平成22年6月28日	2,173,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
93	Payao機能拡張 phase4 一式	平成22年6月30日	7,176,750	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	三井情報株式会社 東京都港区愛宕二丁目5番1号	-	1	三井情報株式会社が独自に開発したソフトウェアの機能追加であり、他社が応れすることは不可能。		
94	ファイルサーバとデータ解析サーバの構築に係る調達一式	平成22年6月30日	3,423,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	新日鉄ソリューションズ株式会社 東京都中央区新川2丁目27番1号	-	3	-		
95	各拠点間を相互接続するための回線サービス一式(その2)	平成22年6月30日	3,213,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄通信ネットワーク株式会社 沖縄県那覇市東町4番地1	-	2	-		
96	研究材料・消耗品一括購入	平成22年6月30日	9,328,515	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	6	-		
97	沖縄科学技術大学院大学(仮称) 研究棟1・動物施設等改修設計業務	平成22年7月1日	5,040,000	公募	5,155,500	97.8%	株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 (簡易公募型プロポーザル方式による随意契約)	1	本契約に密接に関連する業務を当該業者が受注しており、新規の業者が消極的になってしまったため。		▲
98	ゲージ交換ステーションの購入	平成22年7月20日	2,100,000円/台	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまったため。		
99	DNAシーケンシング用試薬一式の購入	平成22年7月20日	8,148,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる試薬の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまったため。		
100	セントラメイト限外ろ過システム 一式の購入	平成22年7月20日	2,408,700	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
101	可動式顕微鏡実験システム一式の購入	平成22年7月30日	21,000,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社otobela 愛知県額田郡幸田町桐山縄手27-1	-	1	(株)otobelaは目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまったため。		
102	走査型多光子顕微鏡用波長可変超短パルス秒レーザー一式の購入	平成22年7月30日	21,048,300	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまったため。		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
103	走査型多光子顕微鏡用除塵台一式の購入	平成22年7月30日	7,171,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社日本レーザー 東京都新宿区西早稲田2-14-1	-	1	(株)日本レーザーは目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
104	微小信号記録解析システム一式の購入	平成22年8月13日	6,505,800	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
105	多チャンネル神経生理学研究用高速ワークステーション一式の購入	平成22年8月13日	8,635,200	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
106	ファイルサーバーとデータ解析サーバーの構築に係わる調達一式(その2)	平成22年8月13日	3,307,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	新日鉄ソリューションズ株式会社 東京都中央区新川1丁目27番1号	-	3	-		
107	DNAシーケンシング用試薬一式の購入	平成22年8月20日	20,934,742	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
108	マイクロソフト製品に関する調達一式の購入	平成22年8月30日	1,580,250	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 オーシーシー 沖縄県浦添市沢崎2丁目17番1号	-	3	-		
109	パッチクランプアンプ一式の購入	平成22年8月30日	3,255,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 otobe 愛知県豊田郡幸田町桐山縄手27-1	-	1	(株)otobeは目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
110	ポストキャリアアフォーラムへの出展	平成22年9月1日	3,675,000	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 ディスコ 東京都文京区後楽2-15-1	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 機構が求める人材採用のための同種同質のサービスが他にないため。	-	-		
111	沖縄科学技術大学院大学(仮称)研究棟1・動物施設等改修その他工事	平成22年9月6日	47,145,000	一般	50,085,000	94.1%	株式会社 竹中工務店 大阪市中央区本町四丁目1番13号	-	7	-		
112	サンプル準備用周辺機器類 一式の購入	平成22年9月17日	4,798,500	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	沖縄メディックス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
113	冷却機器類 一式の購入	平成22年9月17日	2,457,000	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 森山商事 沖縄県那覇市寄宮2丁目29番22号	-	4	-		
114	A重油の購入(その3)	平成22年9月17日	53.97円/ℓ	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 りゅうせき 沖縄県浦添市西洲2丁目2番3号	-	5	-		
115	シンポジウム・ワークショップ及び会合開催支援業務一式	平成22年9月17日	3,786,090	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 沖縄コングレ 沖縄県那覇市久茂地3丁目1番1号 日本生命那覇ビル	-	2	-		
116	シンポジウム・ワークショップに係わる音響機器賃貸借一式	平成22年9月17日	995,568	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 NHKグローバルメディアサービス 東京都渋谷区神山町9番2号	-	2	-		
117	沖縄科学技術大学院大学(仮称)研究棟2新営その他工事(その1)	平成22年9月17日	2,278,500,000	一般	3,454,395,000	66.0%	西松建設株式会社 東京都港区虎ノ門一丁目20番10号	-	5	-		
118	官報公告掲載料	平成22年9月21日	1,294,380	随意	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄県官報販売所 沖縄県那覇市久茂地1丁目1番1号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 当該地域で唯一の供給者であるため	-	-		
119	混合ガスの購入	平成22年9月30日	25,200円/本	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社 オカノ 沖縄県那覇市安謝1丁目23番8号	-	1	当機構の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
120	電気生理学計測装置一式の購入	平成22年9月30日	9,550,128	一般	同種の他の契約の予定価格を掲載させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率 %	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
121	単一周波数アルゴンイオンレーザー 一式の購入	平成22年10月15日	6,651,750	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
122	刺激反応測定装置 一式の購入	平成22年10月15日	6,252,750	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
123	オープンキャンパス2010開催支援業務委託	平成22年10月15日	2,825,708	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ビガローゼンシー 沖縄県那覇市松尾2-22-28	-	4	-		
124	沖縄科学技術大学院大学(仮称)講堂新営その他工事(その1)	平成22年10月22日	677,250,000	一般	731,010,000	92.6%	東洋建設株式会社 大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号	-	7	-		▲
125	インビボイメーシング測定システム 一式の購入	平成22年11月1日	8,535,135	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
126	マルチモードマイクロプレートリーダー 一式の購入	平成22年11月1日	3,024,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
127	2011年外国逐次刊行物の購入(Group A)	平成22年11月1日	30,865,800	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社紀伊國屋書店 福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1	-	2	-		
128	2011年外国逐次刊行物の購入(Group B)	平成22年11月1日	18,324,600	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社紀伊國屋書店 福岡県福岡市博多区博多駅中央街2-1	-	2	-		
129	2011年外国逐次刊行物の購入(Group C)	平成22年11月1日	23,529,289	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	丸善株式会社 沖縄出張所 沖縄県那覇市泉崎1丁目12番7号	-	2	-		
130	Roche Diagnostics社シーケンシング試薬の年間使用量に基づく単価契約	平成22年11月1日	90,684,090	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる試薬の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
131	沖縄科学技術大学院大学(仮称)講堂新営等に係る工事監理業務	平成22年11月5日	41,790,000	公募	43,470,000	96.1%	日建設計・国建共同体 代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 (簡易公募型プロポーザル方式による随意契約)	1	本契約に直接に関連する業務を当該業者が受注しており、新規の業者が消極的になってしまうため。		▲
132	沖縄科学技術大学院大学講堂等実施設計業務(その2)	平成22年11月5日	11,445,000	随意	11,865,000	96.5%	日建設計/コンパニ-グ・アソシエイツ/国建共同体 代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規程第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 元業務を参加者確認型公募方式により業者選定する際に、元業務に直接関係する業務として本業務を含めて選定を行っている	-	-		
133	沖縄科学技術大学院大学研究棟2内中央実験施設等実施設計業務(その2)	平成22年11月5日	79,191,000	随意	82,215,000	96.3%	日建設計/コンパニ-グ・アソシエイツ/国建共同体 代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規程第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 元業務を参加者確認型公募方式により業者選定する際に、元業務に直接関係する業務として本業務を含めて選定を行っている	-	-		
134	沖縄科学技術大学院大学(仮称)研究棟2新営等に係る工事監理業務	平成22年11月8日	148,932,000	公募	158,340,000	94.1%	日建設計・国建共同体 代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 (簡易公募型プロポーザル方式による随意契約)	1	本契約に直接に関連する業務を当該業者が受注しており、新規の業者が消極的になってしまうため。		▲
135	沖縄科学技術大学院大学(仮称)研究棟2(B・C階他)実験施設等設計業務	平成22年11月8日	174,300,000	公募	181,230,000	96.2%	日建設計/コンパニ-グ・アソシエイツ/国建共同体 代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 (参加者確認型公募による随意契約)	0	本契約に直接に関連する業務を当該業者が受注しており、新規の業者が消極的になってしまうため。		▲
136	沖縄科学技術大学院大学新財務会計システム構築業務一式	平成22年11月9日	54,705,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社エスアインフオジェニック 東京都文京区本郷4丁目9番25号	-	2	-		▲
137	ゼブラフィッシュ飼育研究関連機器 一式の購入	平成22年11月12日	10,680,390	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率 <sup>96</sup>	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
138	DNAシーケンシング用試薬一式の購入	平成22年11月12日	3,659,250	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原宇津嘉山1582	-	2	-		
139	光学系備品 一式の購入	平成22年11月12日	2,716,290	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	ソーラボジャパン株式会社 東京都豊島区東池袋2-23-2	-	2	-		
140	CMOSカメライメージングシステム 一式の購入	平成22年11月12日	2,895,984	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社フィジオテック 東京都千代田区岩本町1丁目6番3号	-	2	-		
141	会議室等什器類 一式の購入	平成22年11月15日	24,045,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社加島事務機 沖縄県浦添市勢理客3丁目11番5号	-	3	-		
142	沖縄科学技術大学院大学(仮称)講堂新営電気設備その他工事	平成22年11月18日	99,750,000	一般	102,060,000	97.7%	東光電気工事株式会社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号	-	14	-		▲
143	精密機器等移設業務	平成22年11月19日	22,890,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	西川計測株式会社 沖縄営業所 沖縄県那覇市久茂地1-12-12	-	3	-		▲
144	沖縄科学技術大学院大学(仮称)講堂新営機械設備その他工事	平成22年11月19日	155,400,000	一般	174,930,000	88.8%	高砂熱学工業株式会社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地5	-	10	-		▲
145	セミナー室等造作家具 一式の購入	平成22年11月26日	8,715,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社サンスイ 沖縄県那覇市宇国場116番地	-	3	-		
146	沖縄科学技術大学院大学新財務会計システム導入支援および連携システム調達支援	平成22年12月1日	2,730,000	随意	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ビジネスブレイン太田昭和 東京都港区南麻布2-12-3	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 前年度に企画競争方式により業者選定された契約と密接に関連する業務であるため。	-	-		
147	超低温フリーザー 一式の購入	平成22年12月3日	1,936,200	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原宇津嘉山1582	-	3	-		
148	R1施設作業環境測定用機器 一式の購入	平成22年12月8日	2,167,515	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原宇津嘉山1582	-	2	-		
149	ゲル電気泳動装置 一式の購入	平成22年12月8日	2,816,100	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ウインクス 京都府宇治市伊勢田町明木2丁目1番地の233	-	2	-		
150	タンパク質検索関連ソフトウェア 一式の購入	平成22年12月8日	2,150,400	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ウインクス 京都府宇治市伊勢田町明木2丁目1番地の233	-	1	(株)ウインクスは目的となるソフトウェアの販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
151	Payao Cell Designer 4.2 対応機能追加一式	平成22年12月8日	2,730,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	三井情報株式会社 東京都港区愛宕二丁目5番1号	-	1	三井情報株式会社が独自に開発したソフトウェアの機能追加であり、他社が応札することは不可能。		
152	イルミナ社シーケンシング試薬の年間使用量に基づく単価契約	平成22年12月12日	121,429,310	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	1	トミー沖縄/ボサイエンス(株)は目的となる試薬の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
153	KEGGモデルのSBML変換ならびにCell Designerフォーマットへの変換一式	平成22年12月13日	3,885,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	アクションヘリックス株式会社 沖縄県那覇市小禄1831番1号	-	2	-		
154	特許移転経費	平成22年12月13日	2,287,981	随意	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	Sidec Technologies AB Fogdevreten 2A Stockholm 171 77 Sweden	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 特許権を機械へ移転するための費用の一部を負担する契約であり、移転元と契約者ではないため。	-	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
155	マクロ蛍光顕微鏡システム 一式の購入	平成22年12月22日	3,484,425	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
156	薄射蛍光顕微鏡システム 一式の購入	平成22年12月22日	4,649,872	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
157	超純水製造装置メンテナンス 一式	平成22年12月22日	1,942,290	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
158	IEEE All-Society Periodicals Package(ASPP) Online の購読	平成23年1月1日	4,812,500	随意	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	丸善株式会社沖縄出張所 沖縄県那覇市泉崎1丁目12番7号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 当該電子書籍は丸善株式会社のみから提供されているため	-	-		
159	沖縄科学技術大学院大学 ピレッジゾーン住居等設計業務	平成23年1月4日	31,710,000	公募	33,495,000	94.7%	日建設計/コンバーク・アソシエイツ/国建 共同体 代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規定第17条 契約事務取扱規則第31条第1項第1号 (参加者確認型公募による随意契約)	0	本契約に直接に関連する業務を当該業者が受注しており、新規の業者が消極的になってしまうため。		▲
160	A重油の購入(その4)	平成23年1月14日	68.25円/L	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	エッカ石油株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目3番2号	-	4	-		
161	TEMPO NET SYSTEM 一式の購入	平成23年1月14日	2,835,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	バイオリサーチセンター株式会社 愛知県名古屋市長区泉2丁目28番24号	-	3	-		
162	DNAシーケンシング用試薬(BigDye Terminator v3.1 5000反応)一式の購入	平成23年1月14日	3,659,250	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
163	高圧凍結装置 一式の購入	平成23年1月14日	31,027,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	2	-		
164	電気生理学測定システム一式の購入	平成23年1月25日	5,785,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社フジオテック 東京都千代田区岩本町1丁目6番3号	-	2	-		
165	OmicBrowseホスティングサービス及びデータ変換一式	平成23年1月28日	1,890,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	アクシオヘルクス株式会社 沖縄県那覇市小禄1831番1号	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
166	沖縄科学技術大学院大学 ピレッジゾーンブローカー棟・浄化槽新築工事	平成23年2月2日	32,308,500	一般	35,080,500	92.1%	有限会社 秋建設 沖縄県沖縄市海邦2丁目14番18号	-	3	-		▲
167	マクロ蛍光イメージングシステム 一式の購入	平成23年2月4日	2,940,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
168	イリジウム通信型中層漂流フロート 一式の購入	平成23年2月4日	2,404,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ハイドロシステム開発 東京都江戸川区西瑞江3丁目19番10号	-	1	(株)ハイドロシステム開発は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまったため。		
169	実験動物繁殖管理システム 一式の購入	平成23年2月4日	10,342,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	メディアテック株式会社 宮城県石巻市開成1番地20	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
170	顕微鏡用ステージ 一式の購入	平成23年2月4日	2,798,250	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	トミー沖縄/ボサイエンス株式会社 沖縄県浦添市牧港5丁目6番2号	-	3	-		
171	沖縄科学技術大学院大学 ピレッジゾーンブローカー棟・浄化槽新築機械設備工事	平成23年2月14日	166,950,000	一般	169,995,000	98.2%	沖縄水質改良株式会社 沖縄県那覇市曙3丁目20番12号	-	1	当機種の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		▲
172	神経細胞インビボ測定システム 一式の購入	平成23年2月16日	7,612,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社フジオテック 東京都千代田区岩本町1丁目6番3号	-	2	-		

番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率%	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
173	沖縄科学技術大学院大学講堂新営昇降機設備工事	平成23年2月16日	21,525,000	一般	26,823,300	80.2%	沖縄変電ビルシステム株式会社 沖縄県那覇市久茂地1丁目3番1号	-	4	-		▲
174	沖縄科学技術大学院大学ビレッジノーンプローア棟・浄化槽新営電気設備工事	平成23年2月17日	17,010,000	一般	30,376,500	56.0%	株式会社 電協エンジニアリング 沖縄県うるま市石川2313-4	-	10	-		▲
175	沖縄科学技術大学院大学研究棟2等新営電気設備工事	平成23年2月17日	1,312,500,000	一般	1,352,190,000	97.1%	東光電気工事株式会社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号	-	3	-		▲
176	沖縄科学技術大学院大学研究棟2等新営機械設備工事	平成23年2月17日	1,848,000,000	一般	2,220,855,000	83.2%	新菱冷熱工業株式会社 東京都新宿区四谷2丁目4番地	-	4	-		▲
177	Biacore T200 Upgrade 一式の購入	平成23年2月25日	2,781,450	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ロジックバイオ 大阪府茨木市中穂積3-14-10	-	3	-		
178	図書室等什器 一式の購入	平成23年2月28日	26,250,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	住高インテリアインターナショナル株式会社 東京都千代田区神田錦町3-24-1	-	5	-		
179	遺伝子発現解析 一式の購入	平成23年2月28日	3,450,300	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
180	沖縄科学技術大学院大学講堂等実施設計業務(その3)	平成23年3月1日	2,100,000	随意	2,160,900	97.2%	日建設計/コーンバーグ・アソシエイツ/国建 共同代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規程第17条 契約事務取扱規則第31条1項第1号 本業務は設計意図伝達業務であり、設計行為の延長である。設計上の責任を明確にし、設計意図を正確に伝えることが出来るのは、設計業務受注者のみである。	-	-		
181	沖縄科学技術大学院大学講堂新営等に係る工事監理業務(その2)	平成23年3月1日	7,875,000	随意	8,293,950	94.9%	日建設計・国建共同代表者 株式会社 日建設計 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号	会計規程第17条 契約事務取扱規則第31条1項第1号 元業務を公募型プロポーザル方式により業者選定する際に、元業務に直接関係する業務として本業務を含めて選定を行っている。	-	-		
182	実習用実体顕微鏡その1	平成23年3月9日	4,087,335	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	沖縄メディックス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
183	実習用実体顕微鏡その2	平成23年3月9日	2,600,850	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社中央医療器 沖縄県島尻郡南風原町字神里409番地の5	-	3	-		
184	実習用実体顕微鏡その3	平成23年3月9日	1,650,600	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社中央医療器 沖縄県島尻郡南風原町字神里409番地の5	-	3	-		
185	人事・給与システム導入 一式	平成23年3月11日	29,400,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社ニッセイコム 東京都品川区大井1丁目47番1号	-	2	-		
186	パソコン(Mac)一式の購入	平成23年3月11日	1,627,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄パナソニック特機株式会社 沖縄県那覇市西2丁目15番1号	-	4	-		
187	G0細胞ユニット精密機器等移設業務	平成23年3月15日	18,289,950	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	三進金属工業株式会社 沖縄出張所 沖縄県糸満市西崎町3-288 シャトレなか2F	-	2	-		▲
188	Microsoft Exchange Server system 導入一式	平成23年3月16日	3,675,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社オーシーシー 沖縄県浦添市沢崎2丁目17番1号	-	3	-		
189	ERP用機器一式の購入	平成23年3月16日	6,226,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	新日鉄ソリューションズ株式会社 東京都中央区新川2丁目27番1号	-	2	-		



番号	件名	契約日	契約金額(円)	契約の種類	予定価格(円)	落札率 %	契約者の名称及び住所	随契とした根拠規定と理由	応札者数	一者応札の場合、一者応札となった理由	契約先へ再就職した役員数	備考
190	Payao refinement システム開発一式	平成23年3月16日	4,263,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社シー・アール・シー 沖縄県那覇市壺川3丁目2番4号	-	1	当機構の要求する仕様を満たすことのできる業者が他になく、結果的に1者による応札となったもの。		
191	インキュベーターシェーカー 一式の購入	平成23年3月28日	1,828,575	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
192	高分解能三次元クライオ電子顕微鏡システム 一式の購入	平成23年3月28日	689,850,000	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	1	沖縄メディックス(株)は目的となる機器の販売代理店であり、必然的に供給可能な業者が限定されてしまうため。		
193	映像・音響設備 一式の購入	平成23年3月29日	9,964,500	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	株式会社沖縄科学AVセンター 沖縄県浦添市勢理登1丁目2-29	-	3	-		
194	フローサイトメータシステムの購入 一式	平成23年3月30日	36,551,802	一般	同種の他の契約の予定価格を預推させるおそれがあるため公表しない	-	沖縄メディックス株式会社 沖縄県島尻郡南風原字津嘉山1582	-	2	-		
	合計		9,827,208,388									

(注)1 調達基準(随意契約によることができる場合):

- ① 予定価格が250万円を超えない工事又は製造をさせるとき
- ② 予定価格が160万円を超えない財産を買い入れるとき
- ③ 予定賃借料の年額又は総額が80万円を超えない物件を借り入れるとき
- ④ 工事又は製造の請負、物件の賃借以外の契約でその予定価格が100万円を超えないものをするとき

(注)2 公表基準:

- ① 公共工事(公共工事に係る調査及び設計業務等を含む。)の名称、場所、期間及び種別又は物品等若しくは役務の名称及び数量
- ② 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地
- ③ 契約を締結した日
- ④ 契約の相手方の高号又は名称及び住所
- ⑤ 一般競争入札又は指名競争入札の別及び総合評価方式による場合は、その旨(随意契約を行った場合を除く。)
- ⑥ 契約金額
- ⑦ 予定価格(公表したとしても、他の契約の予定価格を預推されるおそれがないと認められるもの又は国の事務又は事業に支障を生じるおそれがないと認められるものに限る。)
- ⑧ 落札率(契約金額を予定価格で除したものに百を乗じて得た率。予定価格を公表しない場合を除く。)
- ⑨ 随意契約によることとした会計法令の根拠条文及び理由(理由は、具体的かつ詳細に記載すること。また、企画競争又は公募手続きを行った場合には、その旨を記載すること。)
- ⑩ 所管する公益法人と随意契約を締結する場合に、当該法人に国の常勤職員であったものが役員として、契約を締結した日に在職していれば、その人数
- ⑪ その他必要と認められる事項  
(予定価格が予算令第99条第2号、第3号、第4号又は第7号のそれぞれの金額を超えないものを除く)

(注)3 契約種類欄については、一般競争=「一般」、指名競争=「指名」、随契のうち企画競争=「企画」、随契のうち公募=「公募」、その他の随契=「随契」について記入する。

(注)4 調達基準及び公表基準を国の基準に合わせるにより、当一覧表に掲載されることとなったものについては、備考欄に○を付す。

(注)5 随意契約の見直しにより、23年度以降、一般(又は指名競争入札)に移行するものについては、備考欄に◎を付す。

(注)6 応募に当たり、当該契約内容に関して実務経験者の在籍の有無又は契約(請負)実績の有無を条件としたものについては、備考欄に▲を付す。

(注)7 関連公益法人との契約については、備考欄に「関連」と記載する。

1者以下	件数	金額	割合
1者以下	70	2,041,785,768	40.5%
2者以上	103	7,315,841,623	59.5%
合計	173	9,357,627,391	100%

給与水準の比較指標について参考となる事項

○事務・技術職員

項目	内容									
<p>指数の状況</p>	<p>対国家公務員 118.9</p> <table border="1" data-bbox="630 369 1045 470"> <tr> <td data-bbox="630 369 758 414">参考</td> <td data-bbox="758 369 1045 414">地域勘案</td> <td data-bbox="981 369 1045 414">130.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="758 414 1045 448">学歴勘案</td> <td data-bbox="981 414 1045 448">115.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="758 448 1045 470">地域・学歴勘案</td> <td data-bbox="981 448 1045 470">129.5</td> </tr> </table>	参考	地域勘案	130.5		学歴勘案	115.2		地域・学歴勘案	129.5
参考	地域勘案	130.5								
	学歴勘案	115.2								
	地域・学歴勘案	129.5								
<p>国に比べて給与水準が高くなっている定量的な理由</p>	<p>1. 本機構は、大学院大学の設置準備を主たる目的とし、大学院大学が設置された時には解散することとされている過渡的な組織であることから、組織のスリム化を図るため、平成17年の設置以来、任期付職員(年俸制)及び派遣職員(※1)の活用を努めてきたところであり、国家公務員等との給与水準の比較指標の算定対象となる定年制職員(月給制)については、事務・技術職員の21.8%に抑制し、基幹となる職員を中心に充ててきた。                  ※1:国家公務員等との給与水準の比較指標の算定対象とならない。                  このため、定年制職員に占める管理職(役職者)の割合が、国家公務員における同割合を大きく上回っており(本機構の定年制職員に占める管理職の割合:50.0%(国家公務員の同割合:16.6%(※2))、指数が高くなる傾向にある。                  ※2:行政職俸給表(一)の適用を受ける職員において、俸給の特別調整額が支給される者の割合(平成22年国家公務員給与等実態調査)                  仮に、任期付職員を含めた事務・技術職員全体の対国家公務員指数(年齢勘案)を算定すると、104.3となる。これは概ね国家公務員と同水準であり、こちらの指数の方が機構の給与水準をより適切に示しているものと考えられる。</p> <p>2. また、本機構は、主任研究者の半数以上を外国人が占めるなど、高度に国際的な環境の下で、平成24年度の大学院大学の開学に向けて着実に業務を遂行する体制を早期に整えることが求められてきた。このため、事務職員の採用に当たっては、民間企業等に勤務する実務経験があり、英語能力や国際水準の専門能力を有する即戦力となる職員を中心に採用を行い、能力主義の下、年齢にとらわれず配置してきた。こうした職員を採用するためには、一定水準の雇用条件を提示することが必要である。                  (参考)職員の専門性・英語能力等について                  対国家公務員指数の算定対象となった定年制の事務・技術職員(22人)のうち、                  ・大卒以上20人(うち博士3人、修士6人)、一級建築士1人                  ・英語能力 ネイティブレベル3人、ビジネスレベル15人</p> <p>3. なお、定年制職員の給与水準の抑制に努めた結果、指標は徐々に低下してきたところである。                  (参考)機構における対国家公務員指数(年齢勘案)の推移                  平成18年度:145.3, 平成19年度:132.7, 平成20年度:132.7, 平成21年度:122.8</p> <p>【主務大臣による検証】                  機構発足以降、早期に体制を整備する必要があったため、民間企業での実務経験や英語能力がある等、即戦力となる基幹職員(管理職員)を先行的に定年制職員として採用してきたことや、総人件費を抑制するため任期付職員等の活用を努めてきたこと等が原因となり、機構の対国家公務員指数は高くなっていたが、平成24年度の開学に向けた準備が進む中、従来の基幹職員(管理職員)中心の採用に加え、計画的に中堅・若年層の充実を図ってきた結果、対国家公務員指数は着実に低下してきている。                  今後、沖縄において世界最高水準の教育研究を行うという大学院大学の目的を実現するための組織にふさわしい組織・給与体制を整備する必要があるが、引き続き給与水準の適正化に努めることが必要である。</p>									
<p>給与水準の適切性の検証</p>	<p>【国からの財政支出について】                  支出予算の総額に占める国からの財政支出の割合 99.4%                  (国からの財政支出額 15,907百万円、支出予算の総額 15,996百万円:平成22年度予算)</p> <p>【検証結果】                  給与水準は国家公務員の水準を上回っているが、業務拡大による人員増の中、給与水準の低下に努めている。</p> <p>【累積欠損額について】                  累積欠損額0円(平成21年度決算)</p> <p>【検証結果】                  該当なし</p>									
<p>講ずる措置</p>	<p>対国家公務員指数は相対的なものであり、また職員の過半を占めている研究職員を除く事務・技術職員数で見ると小規模である当法人は人事異動の影響を大きく受けるため、定年制職員について来年度に見込まれる数値を具体的に予測することは困難であるが、本年4月の在籍職員(任期付職員を含めた事務・技術職員)について試算すると、平成23年度の指数は108.3(年齢勘案)となるものと見込まれる。今後、以下の取組により、給与水準の適正化及び総人件費の抑制に努めることにより、任期付職員を含めた事務・技術職員の給与の指数が平成23年度においても引き続き、概ね国家公務員と同水準となることを目指す。</p> <p>①俸給表の見直し:平成22年度から5年間で計5.5%の給与水準の引下げを行うこととしており、平成22年度及び23年度においては、それぞれ1.1%の引下げを行った。</p> <p>②人事評価制度の的確な実施:平成22年度に導入した人事評価制度を的確に実施し、能率・勤務成績が給与に適切に反映されるようにする。</p> <p>③ERP(統合業務システム)の導入等による業務運営の効率化等に努める。</p> <p>④管理職・非管理職及び定年制・任期付職員のバランスの取れた採用:これまでに基幹職員の採用をほぼ終えたことを踏まえ、今後は恒久的な組織にふさわしいバランスの取れた採用に努めていく。</p> <p>【参考】①支出総額に占める給与、報酬等の支給総額の割合:12.4%、管理職の割合:50.0%(22人中11人)、大卒者以上の高学歴者の割合:91%</p>									

シーサイドハウス施設について

開催日	期間(日数)	参加者数	シーサイドハウス 宿泊者数	シーサイドハウスの べ宿泊者数	イベント名
OIST主催					
2010年5月24日-6月4日	12	65名	33	427	国際ワークショップ 「定量的進化的比較ゲノミクス」
2010年6月14日-7月1日	18	53名	35	660	国際サマースクール 「沖縄計算神経科学コース2010」
2010年7月12日-22日	11	59名	32	365	国際ワークショップ 「発生神経生物学コース」
2010年10月3日-6日	4	29名	23	98	国際ワークショップ 「発生神経生物学コース」
2010年10月6日-7日	2	56名	0	0	国際ワークショップ 「沖縄における知的・産業クラスターの形成を目指して」※宿泊なし
2010年12月1日-3日	3	25名	0	0	国際ワークショップ 「計算生態学ワークショップ」※宿泊なし
2010年12月6日-11日	6	50名	29	186	国際ウィンタースクール 「生物複雑系の進化コース2010」
2011年2月23日-26日	4	25名	13	63	国際ワークショップ 「ガルーダ・フォー」
2011年3月15日-17日	3	19名	19	74	「Sun, Sea, Science & Student Workshop (4S workshop)」
2011年3月29日	1	30名	0	0	「OISTサイエンス・フィルムショー」 ※一般対象
OIST協賛					
2010年8月7日-8日	2	10名	0	0	協賛ワークショップ 「人工知能国際会議評議会」※宿泊なし
2010年11月4日	1	35名	0	0	協賛ワークショップ 「平成22年度第2回身体性情報学研究会」※宿泊なし
2010年11月5日-7日	3	80名	34	68	協賛ワークショップ 「JSTさきがけ脳情報: 第5回領域会議」
2010年11月15日-17日	3	70名	10	35	協賛ワークショップ 「原子核の新しい顔」 ※会場はキャンパスにつき、SH利用は宿泊のみ
2011年3月3日-5日	3	70名	31	93	協賛ワークショップ 「第3回日独ジョイントワークショップ計算論的神経科学」
合計	76	676	259	2,069	

資産名称	所有／借用	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	用途	利用状況	今後の利用計画
キャンパス センター棟&第1研究棟	所有	恩納村宇谷茶	26,834	研究室、事務室、セミナールーム、会議室	研究室、事務室等として、ほぼ全ての施設が稼働	現行どおり継続して利用
シーサイドハウス	所有	恩納村宇恩納	3,056	研究室、事務室、セミナールーム、会議室、宿舍	・2ユニット(トリップ、デシュッター) ・国際ワークショップ開催実績(平成22年度) ・OIST主催9回、協賛5回 ・参加者数計676名 ・宿泊者数259名(延べ宿泊数2,069泊)	・国際ワークショップ等の会場として、現行どおり継続して利用 ・旧事務室スペースについて、研究ユニット(ドライ系)用の研究室に転用することを想定したレイアウト検討を行った。今後、新規採用の主任研究者に対してヒアリングを行い、詳細を含めた設計を行う。
シーサイドファカルティースタッフ宿舎(8棟)	所有	恩納村宇恩納	65~179	宿舎	・長期滞在用宿舎7棟入居中。 ・短期滞在用宿舎1棟(稼働率54%)	・継続して利用 ・長期滞在用、短期滞在用の比率等については、ビレッジゾーン(教員向け宿舎)の整備に併せて、改めて検討する予定。
沖縄科学技術研究・交流センター	借用	うるま市州崎	2,746	研究室、事務室、会議室等	・1ユニット(佐藤)及びテクノロジーセンター ・事務部門一部 ・平成22年度にキャンパスに移転したユニット ・4月:4ユニット(銅谷、ウィケンス、シュティーフエル、柳田) ・6月:2ユニット(佐藤、ミケエブ) ・12月:1ユニット(ミラー)	現時点において、新規採用の教員予定者の中に当該施設への入居を予定することとなった者はいないが、引き続き、新規採用の教員予定者の着任時期、研究内容及び計画、キャンパスにおける研究棟(第2研究棟、第3研究棟)の整備スケジュール等を踏まえ検討を行い、今後の継続利用の要否について、年内を目途に一定の結論を得る。
沖縄県工業技術センター(別館等)	借用	うるま市州崎	960	研究室、会議室、駐車場	・平成23年3月、1ユニット(政井)がキャンパスに移転 ・実験・研究機器整理中	現時点において、新規採用の教員予定者の中に当該施設への入居を予定することとなった者はいないが、引き続き、新規採用の教員予定者の着任時期、研究内容及び計画、キャンパスにおける研究棟(第2研究棟、第3研究棟)の整備スケジュール等を踏まえ検討を行い、今後の継続利用の要否について、年内を目途に一定の結論を得る。
沖縄健康バイオテクノロジー研究センター	借用	うるま市州崎	212	研究室	DNAシーケンシング課スタッフが常駐し、シーケンサーを運用・管理	当面、DNAシーケンシングセンターとして継続利用 (現在はDNAシーケンシングに関する研究者のニーズや研究の効率性等を踏まえて検討)
プリンスプラージュ(4室)	借用	恩納村宇富着	30~38/室	短期滞在用宿舎	短期滞在(平均17.6泊/月)	ビレッジゾーン供用開始までの間、当面の間、継続利用
クリエーションコア京都	借用	京都市上京区	130	研究室	田中ユニットが利用(平成23年6月~)	第2研究棟供用開始までの間、使用
日立製作所中央研究所	借用	埼玉県鳩山町	56	研究員居室	外村ユニットが利用(理化学研究所との共同研究)	現行どおり継続して利用

当機構では、上記の実物資産に加え、役員員用に17棟の住宅を借上げている。

平成22年度以降、借用を終了した実物資産

資産名称	所有／借用	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	用途	利用状況	契約終了の理由
沖縄県工業技術センター	借用	うるま市州崎	1,695	研究室、駐車場	平成22年3月、5ユニット(丸山、シンクレア、サマテ、ブライス、高橋)がキャンパスに移転	キャンパスへの移転完了に伴い返却(平成22年4月)
沖縄健康バイオテクノロジー研究センター	借用	うるま市州崎	570	研究室、会議室、研修室、書庫	平成22年4月:1ユニット(アーバスノット)がキャンパスに移転	キャンパスへの移転完了に伴い返却(平成22年5月)
トピカル・テクノ・センター	借用	うるま市州崎	260	研究室、セミナールーム	平成22年4月:1ユニット(イエンケコダマ)がキャンパスに移転	キャンパスへの移転完了に伴い返却(平成22年5月)
コーポしおや(2室)	借用	うるま市宇塩屋	45/室	短期滞在用宿舎	短期滞在(平均16.5泊/月)	短期出張者、赴任者用として利用していたが、恩納キャンパスがメインキャンパスとなったことに伴い、順次、契約を終了した。(平成23年5月、6月)

## (講演)

No	プログラム	日付	場所	主催	内容	講演者	備考
1	OIST講演会	2010/6/14	沖縄県立石川高等学校	OIST	講演会「生物のゲノム解読をとおして学んだこと」	佐藤矩行代表研究者	600名
2	OIST講演会	2010/7/10	沖縄都ホテル	沖縄科学技術大学院大学 設置促進県民会議	講演会「クリエイティブサイエンス～最高の研究をめざして～」	OIST運営委員会委員 ティム・ハント博士	147名
3	OIST講演会	2010/7/10	沖縄県立那覇国際高等学校	OIST	講演会「ノーベル生理学・医学賞受賞への道」	OIST運営委員会委員 ティム・ハント博士	118名
4	2010アジア青年の家オープンセミナー講演会	2010/8/21	恩納村ホテルゆめ舎リゾート	内閣府	研究紹介	佐藤矩行代表研究者	75名
5	第38回全国理数科教育研究会記念講演会	2010/10/7	パシフィックホテル沖縄	全国理数科高等学校長会	講演会「からだで憶える」の脳科学	銅谷賢治代表研究者	
6	サイエンスアゴラ2010	2010/11/20	東京国際交流会館	独立行政法人科学技術振 興機構 (JST)	ワークショップ「一緒に考えよう！日本の未来戦略」	銅谷賢治代表研究者	
7	OIST講演会	2010/12/6	恩納村立山田中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介	ゴードン・アーバスノット代表研究者	67名
8	OIST講演会	2010/12/8	恩納村立恩納中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介	ペアン・クーン代表研究者	117名
9	沖縄産学官イノベーションフォーラム	2010/12/17	沖縄県工業技術センター	沖縄産学官連携推進協議会	研究成果発表	ウルフ・スコグランド代表研究者 神経統合の形成と制御研究ユニット横倉隆和 研究員	
10	OIST講演会	2010/12/21	OIST恩納キャンパス	恩納村村興し協議会	研究紹介	ウルフ・スコグランド代表研究者	94名(仲泊中学校)
11	沖縄生物資源の活用促進に向けた研究基盤 の構築シンポジウム	2011/1/7	沖縄産業支援センター	財団法人沖縄科学技術振 興センター	研究成果発表「遺伝子機能の解明に向けたゲノム科学研究」	佐藤矩行代表研究者	
12	OIST講演会	2011/1/26	恩納村立安富祖中学校	恩納村村興し協議会	研究紹介	アレクサンター・ミケエブ代表研究者	66名 (安富祖中学校、喜瀬武原中学校合同開 催)
13	動物の不思議な能力～ゲノムからの挑戦 フォーラム	2011/1/29	沖縄産業支援センター	OIST	研究成果発表「動物がつくるセルロース」	マリンゲノミクスユニット中島啓介研究員	90名
14	OIST講演会	2011/1/30	南城市大里農村環境改善セ ンター	沖縄科学技術大学院大学 設置促進県民会議	科学実験教室「科学者のお仕事を体験してみよう！」	ホルガー・イエンケコダマ若手代表研究者	約100名
15	沖縄県経営者協会講演会	2011/2/8	ザ・ナハテラス	社団法人沖縄県経営者協 会	講演会「日本の教育と科学・技術」	OIST運営委員会共同議長 有馬朗人博士	沖縄県経営者協会会員110名
16	「ノーベル賞受賞者とのサイエンストーク」 ～科学者と気軽に語り合おう～	2011/2/11	OIST恩納キャンパス	OIST	トーステン・ヴィーゼル博士と県内高校生による意見交換会	OIST運営委員会共同議長 トーステン・ヴィー ゼル博士	沖縄県内高校生12名

## (イベント)

No	プログラム	日付	場所	主催	内容	講演者	備考
1	うんな祭り	2010/7/24-25	恩納村コミュニティセンター	恩納村	OISTの概要紹介ポスター展示、ビデオ上映、研究員による科学 実験	OIST研究スタッフ、事務スタッフ	
2	恩納村/OISTこどもかがく教室	2010/8/16-20	谷茶公民館	OIST/恩納村/恩納村むら 興し協議会	小学1年生～4年生までを対象にした科学教室	OIST PI 佐藤矩行博士、ミー・アン・ブライス博士、 他研究スタッフ	参加児童39名
3	第34回沖縄の産業まつり	2010/10/22-24	沖縄県立武道館	沖縄の産業まつり実行委員 会	OISTの概要紹介ポスター展示、ビデオ上映		
4	OIST OPEN CAMPUS 2010	2010/11/28	OIST恩納キャンパス	OIST、沖縄県、恩納村	PIによる講演、実験デモンストレーション、パネル展示、ラフツアー		全体来場者 2,130名
5	谷茶区民訪問プログラム	2011/2/27	OIST恩納キャンパス	OIST	OIST概要説明・キャンパスツアー		約60名
6	OISTサイエンスフィルムショー	2011/3/29	OISTシーサイドハウス	OIST	映画「レナードの朝」上映、OISTスタッフとの意見交換会	OIST コモンリソースグループ 統括山田真久 博士	30名